

地域福祉推進のための アンケート調査報告書 (一部抜粋)

令和7年3月

茅ヶ崎市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的と方法	3
（1）調査の目的	3
（2）調査の対象	3
（3）調査の方法	3
（4）調査期間	3
（5）回収状況	3
（6）調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
（1）性別	7
（2）年齢	7
（3）居住地区	8
（4）職業	9
（5）同居家族の有無	9
（6）同居家族	10
2. 地域での交流について	11
（1）隣近所の人との付き合い	11
（2）地区内で気軽に顔を出せる場所の有無	12
（3）地区内で気軽に顔を出せる場所	13
（4）日頃の悩みや不安	14
（5）困ったことがあったり、不安を感じたときの家族への相談可否	15
（6）困ったことがあったり、不安を感じたときの家族以外の相談相手	16
（7）悩みや不安について、希望する相談方法	17
（8）居場所	18
（9）隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人の有無	18
（10）隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人	19
3. 地域福祉活動について	20
（1）団体・組織等の認知度	20
（2）活動拠点の認知度	22
（3）地域のボランティア活動への参加の有無	24
（4）参加している地域のボランティア活動	25
（5）地域のボランティア活動の頻度	26
（6）自分のしているボランティア活動に対する考え	26
（7）過去の地域のボランティア活動への参加の有無	27
（8）地域のボランティア活動を辞めた理由	28
（9）今後、参加してみたいと思う地域のボランティア活動	29

(10) 地域のボランティア活動に参加したいと思わない理由.....	31
(11) 地域のボランティア活動に参加する条件	32
(12) 受けたいと思う支援	33
4. 福祉に関する情報について	34
(1) 市内の福祉情報の入手手段	34
(2) 市内の福祉情報の満足度	35
(3) 市内の福祉情報に満足していない理由	35
5. バリアフリー化について	36
(1) 市内のバリアフリー化に対する考え	36
(2) 心のバリアフリーを意識した行動	37
6. 成年後見制度について	38
(1) 成年後見制度の認知度	38
(2) 成年後見制度を知った媒体	39
(3) 成年後見制度に対する考え	40
(4) 成年後見制度の利用意向	41
(5) 成年後見制度を利用したい理由	41
(6) 成年後見制度を利用したくない理由	42
(7) 相談窓口の認知度	43
(8) 市民後見人の認知度	44
(9) 病気や加齢により、判断能力が低下したとき相談したい相手.....	45
7. 再犯防止について	46
(1) 再犯防止のために必要だと思うこと	46
8. 地域福祉施策についての意見	47
(1) 茅ヶ崎市の福祉全般の取り組みについての満足度.....	47
(2) 力を入れていくべき取り組み	48
(3) 自由意見	49

第1章 調査の概要

1. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

新たな地域福祉計画・地域福祉活動計画・成年後見制度利用促進基本計画等を策定するにあたり、市民の福祉に関する意識や活動実態等を伺い、地域福祉に関する基礎的な資料を得ることを目的として実施しました。

(2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の市民2,000名を対象としました。

(3) 調査の方法

郵送配付・郵送回収

(4) 調査期間

令和6年10月15日（火）～令和6年11月22日（金）

(5) 回収状況

配付数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
2,000人	912人	0人	912人	45.6%

※参考：令和元年度実施調査の回収数986人（有効回収率49.3%）

(6) 調査結果を見る上での注意事項

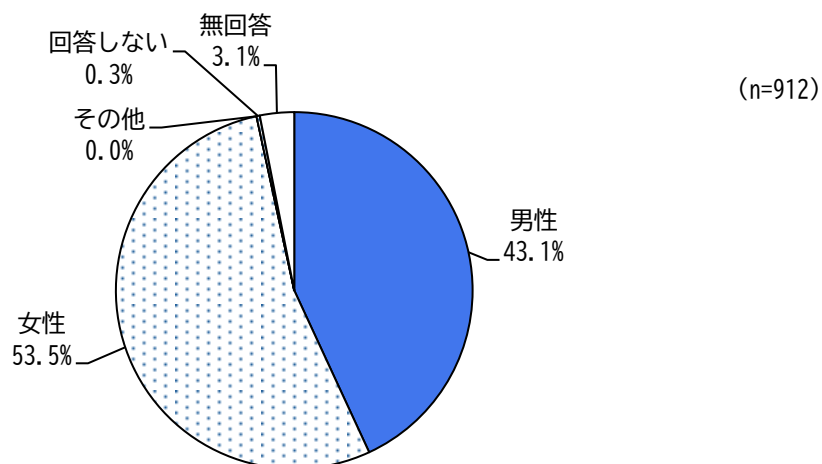
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（回答を1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせても100%にならない場合があります。
- ・複数回答（回答を2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 性別

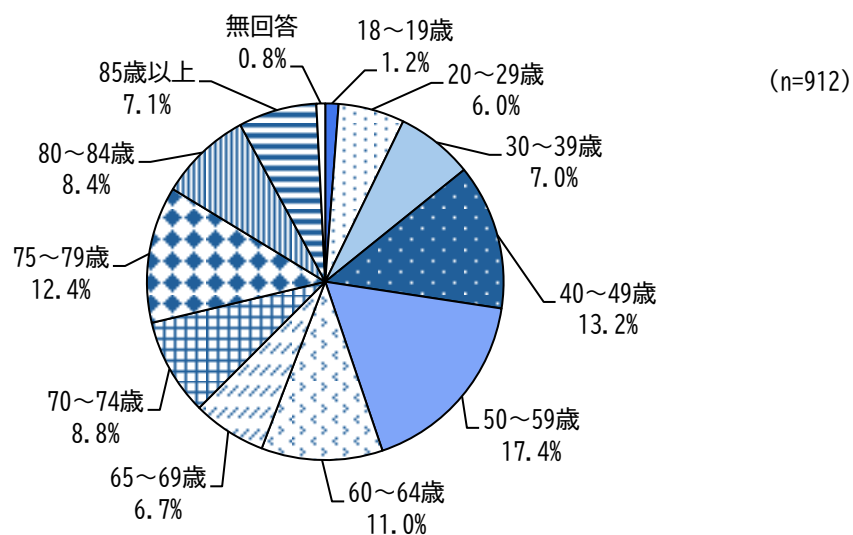
問1 あなたの性別をお答えください。[○は1つ]



性別については、「男性」が43.1%、「女性」が53.5%などとなっています。

(2) 年齢

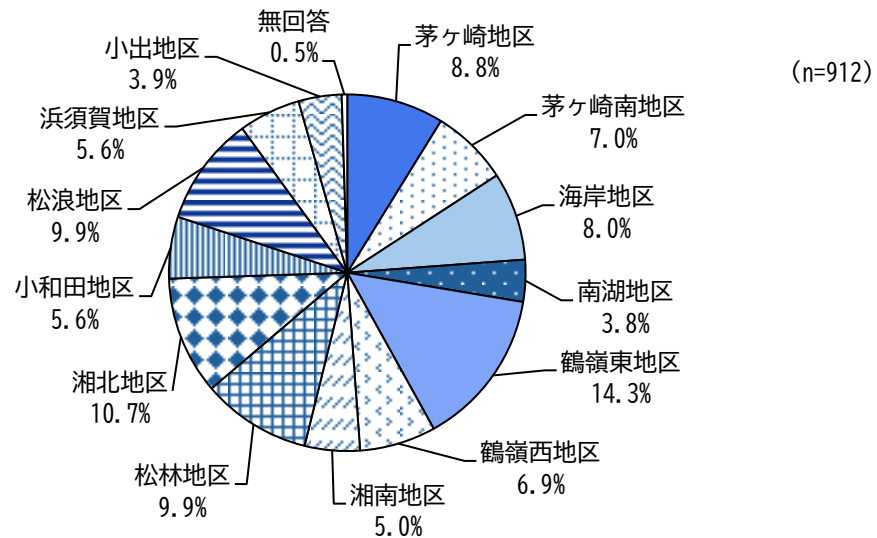
問2 あなたの令和6（2024）年10月15日現在の年齢をお答えください。[○は1つ]



年齢については、70歳代（「70～74歳」と「75～79歳」）が21.2%と最も多く、次いで60歳代（「60～64歳」と「65～69歳」）が17.7%、「50～59歳」が17.4%などとなっています。

(3) 居住地区

問3 あなたが現在お住まいの地区はどちらですか。[○は1つ]



居住地区については、「鶴嶺東地区」が14.3%と最も多く、次いで「湘北地区」が10.7%、「松林地区」、「松浪地区」が9.9%などとなっています。

令和6年10月1日時点の人口構成比と比較しておおむね同様の傾向となっています。

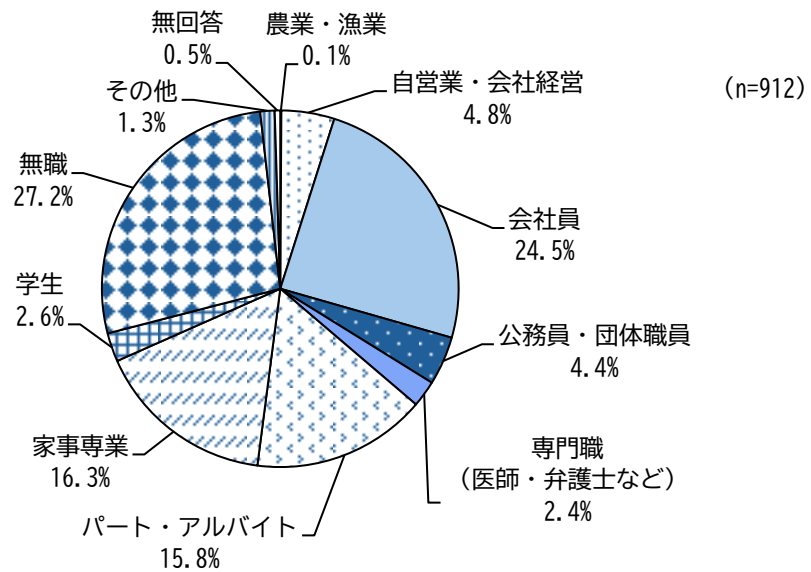
■地区の区分

地区	町丁名	(参考) 令和6年10月1日時点	
		人口(人)	割合(%)
茅ヶ崎地区	茅ヶ崎・元町・新栄町・本村・十間坂	18,190	7.3
茅ヶ崎南地区	若松町・幸町・共恵・中海岸	15,396	6.2
海岸地区	東海岸北・東海岸南	21,053	8.5
南湖地区	南湖	10,099	4.1
鶴嶺東地区	下町屋・浜之郷・矢畑・円蔵・西久保	33,443	13.5
鶴嶺西地区	今宿・平太夫新田・萩園	16,230	6.6
湘南地区	中島・松尾・柳島・柳島海岸・浜見平	14,994	6.1
松林地区	赤羽根・高田・室田・菱沼・松林	27,033	10.9
湘北地区	鶴が台・松風台・香川・みずき・甘沼	26,613	10.8
小和田地区	小桜町・小和田・代官町・本宿町・赤松町	14,725	5.9
松浪地区	浜竹・松浪・出口町・ひばりが丘・美住町・常盤町・富士見町・汐見台・緑が浜	25,638	10.4
浜須賀地区	旭が丘・松が丘・平和町・菱沼海岸・浜須賀・白浜町	14,176	5.7
小出地区	堤・芹沢・行谷・下寺尾	9,899	4.0
合計		247,489	100.0

※上記の地区名・町名別地区区分は、アンケートに回答いただくための区分として掲載したものであり、自治会の区分とは一致しない地域が一部あります。

(4) 職業

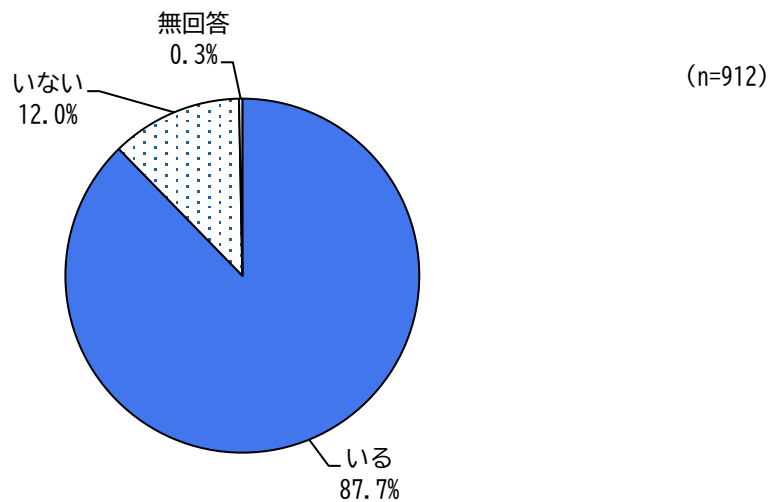
問4 あなたの職業は次のうちどれですか。[○は主なもの1つ]



職業については、「無職」が27.2%と最も多く、次いで「会社員」が24.5%、「家事専業」が16.3%などとなっています。

(5) 同居家族の有無

問5 あなたと同居しているご家族はいますか。[○は1つ]

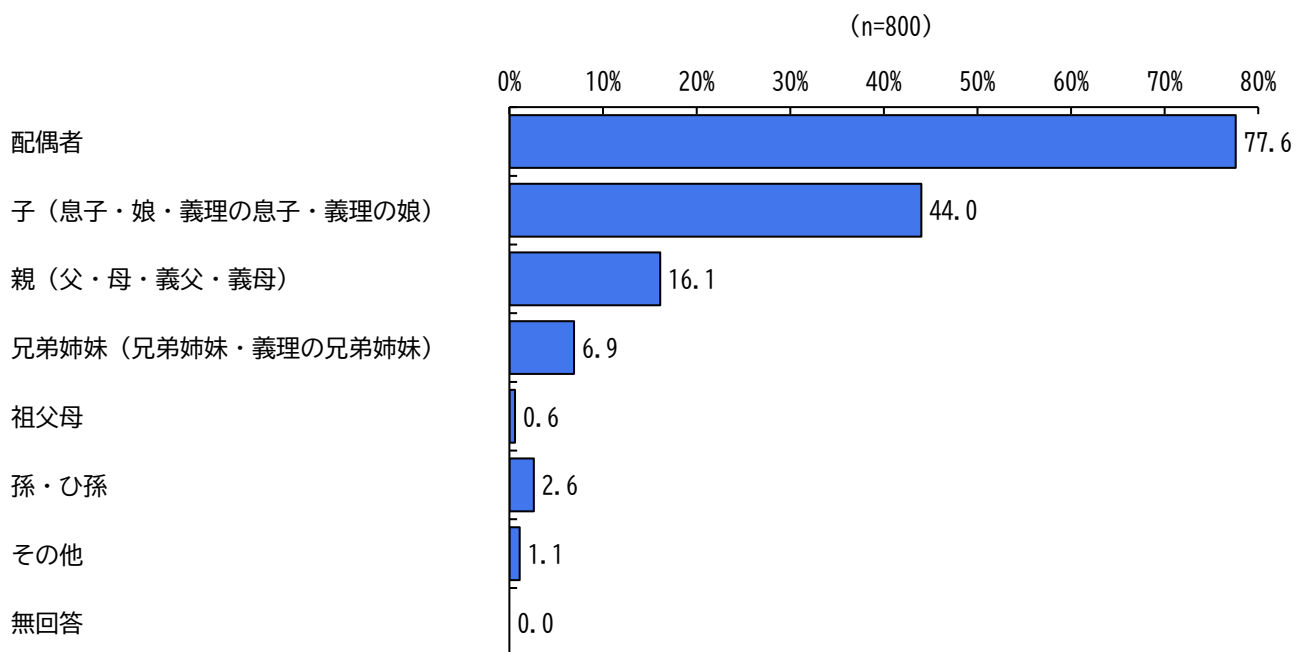


同居家族の有無については、「いる」が87.7%、「いない」が12.0%となっています。

（６）同居家族

問５で「１．いる」と回答した方にお聞きます。

問５－２ あなたと同居されているご家族をお答えください。〔〇はいくつでも〕



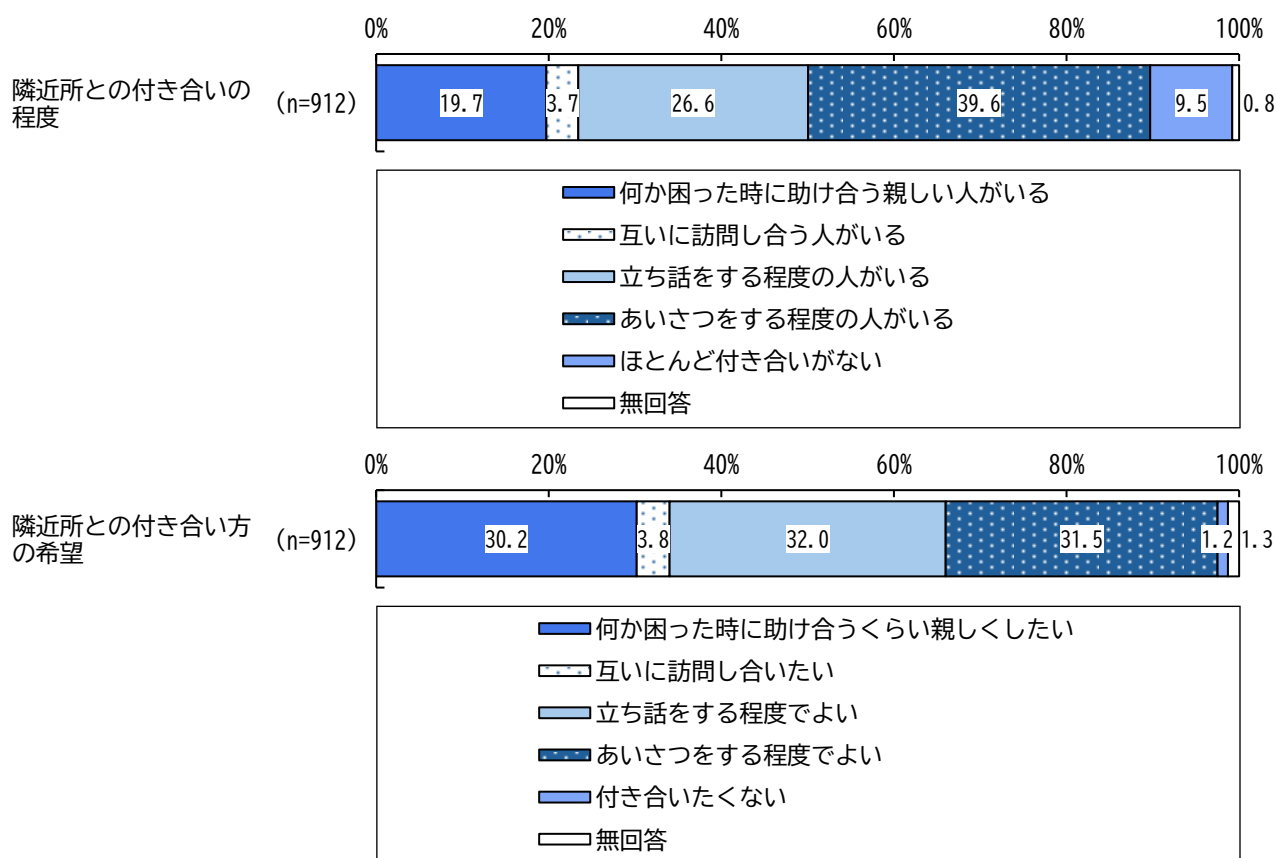
同居家族については、「配偶者」が77.6%と最も多く、次いで「子（息子・娘・義理の息子・義理の娘）」が44.0%、「親（父・母・義父・義母）」が16.1%などとなっています。

2. 地域での交流について

(1) 隣近所の人との付き合い

問6 あなたは普段、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。[○は1つ]

問7 あなたは今後、隣近所の人とどのようにお付き合いをしたいと思いますか。[○は1つ]

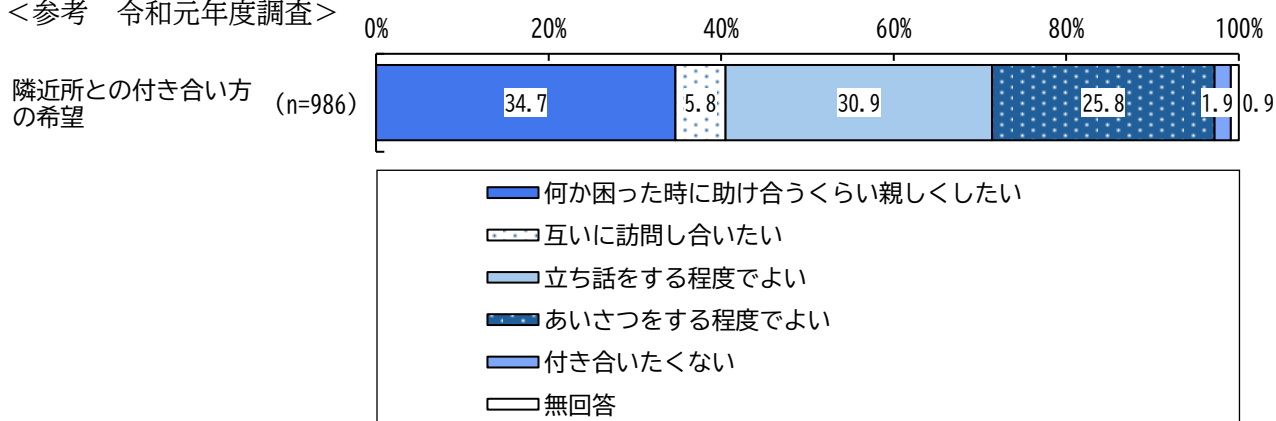


隣近所との付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がある」が39.6%と最も多く、次いで「立ち話をする程度の人がある」が26.6%、「何か困った時に助け合う親しい人がいる」が19.7%などとなっています。

付き合い方の希望については、「立ち話をする程度でよい」が32.0%と最も多く、次いで「あいさつをする程度でよい」が31.5%、「何か困った時に助け合うくらい親しくしたい」が30.2%などとなっています。

付き合い方の希望のほうで、現在の付き合いの程度よりも、何か困った時に助け合うくらい親しくしたい人の割合が多くなっています。

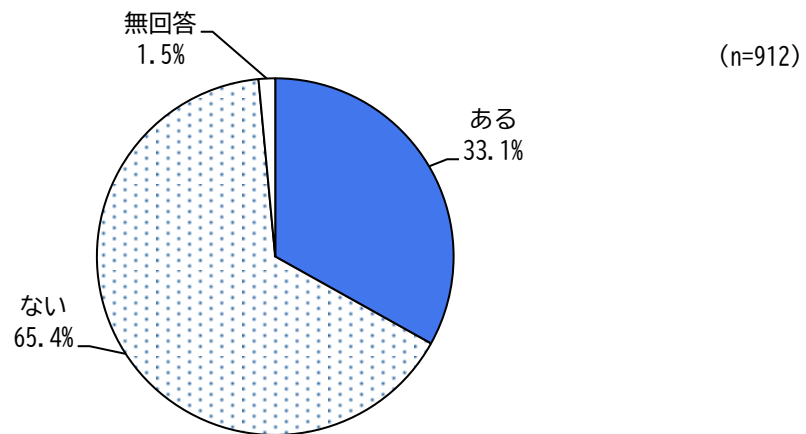
<参考 令和元年度調査>



今回調査では「立ち話をする程度でよい」が32.0%で1位でしたが、前回調査では「何か困った時に助け合うくらい親しくしたい」が34.7%で1位でした。

(2) 地区内で気軽に顔を出せる場所の有無

問8 あなたは、地域の人とお茶を飲んだり、話をしたりする場やサークル活動など、地区内で気軽に顔を出せる場所がありますか。[○は1つ]

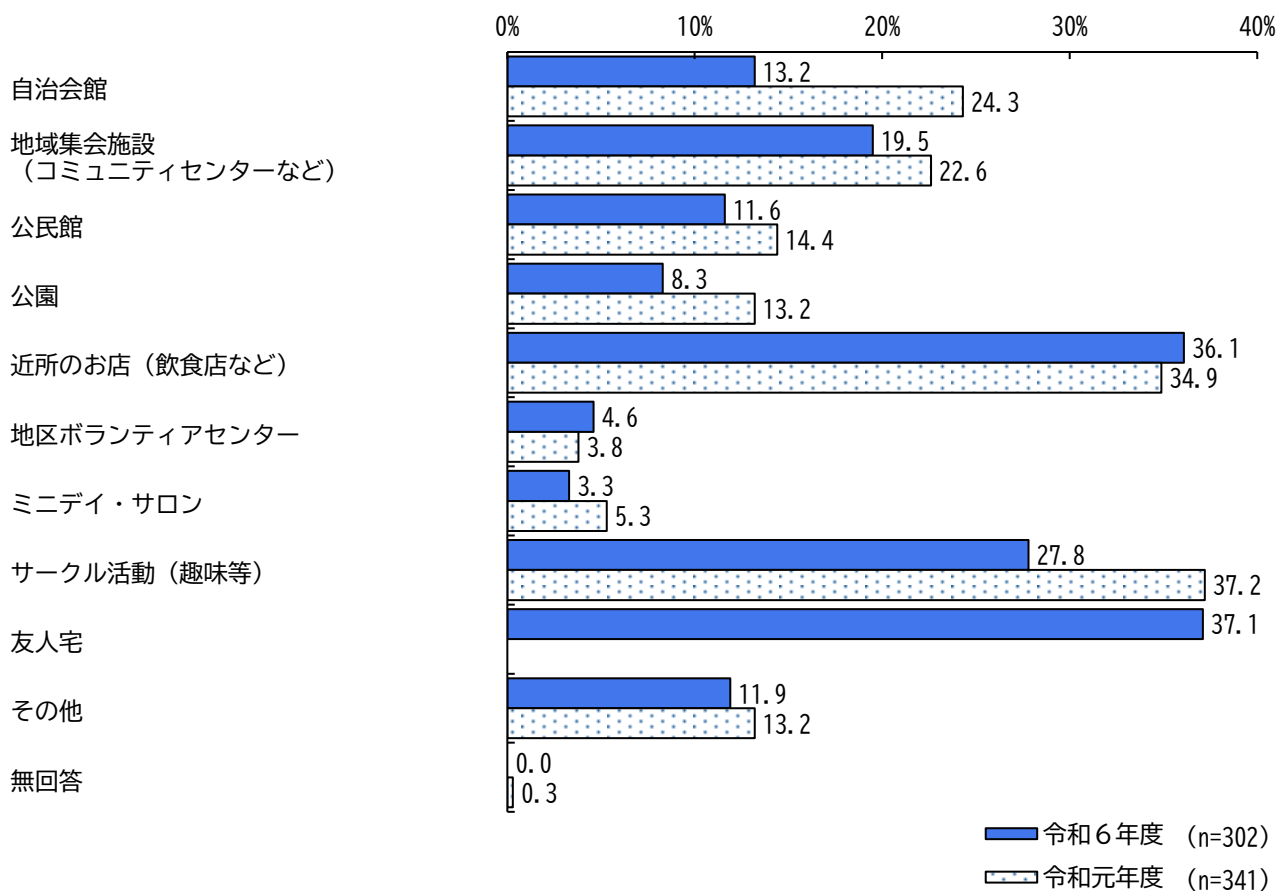


地区内で気軽に顔を出せる場所の有無については、「ある」が33.1%、「ない」が65.4%となっています。

（３）地区内で気軽に顔を出せる場所

問８で「１．ある」と回答した方にお聞きます。

問８－２ それはどこですか。〔〇はいくつでも〕



※選択肢「友人宅」は令和6年度のみ

地区内で気軽に顔を出せる場所については、「友人宅」が37.1%と最も多く、次いで「近所のお店（飲食店など）」が36.1%、「サークル活動（趣味等）」が27.8%などとなっています。

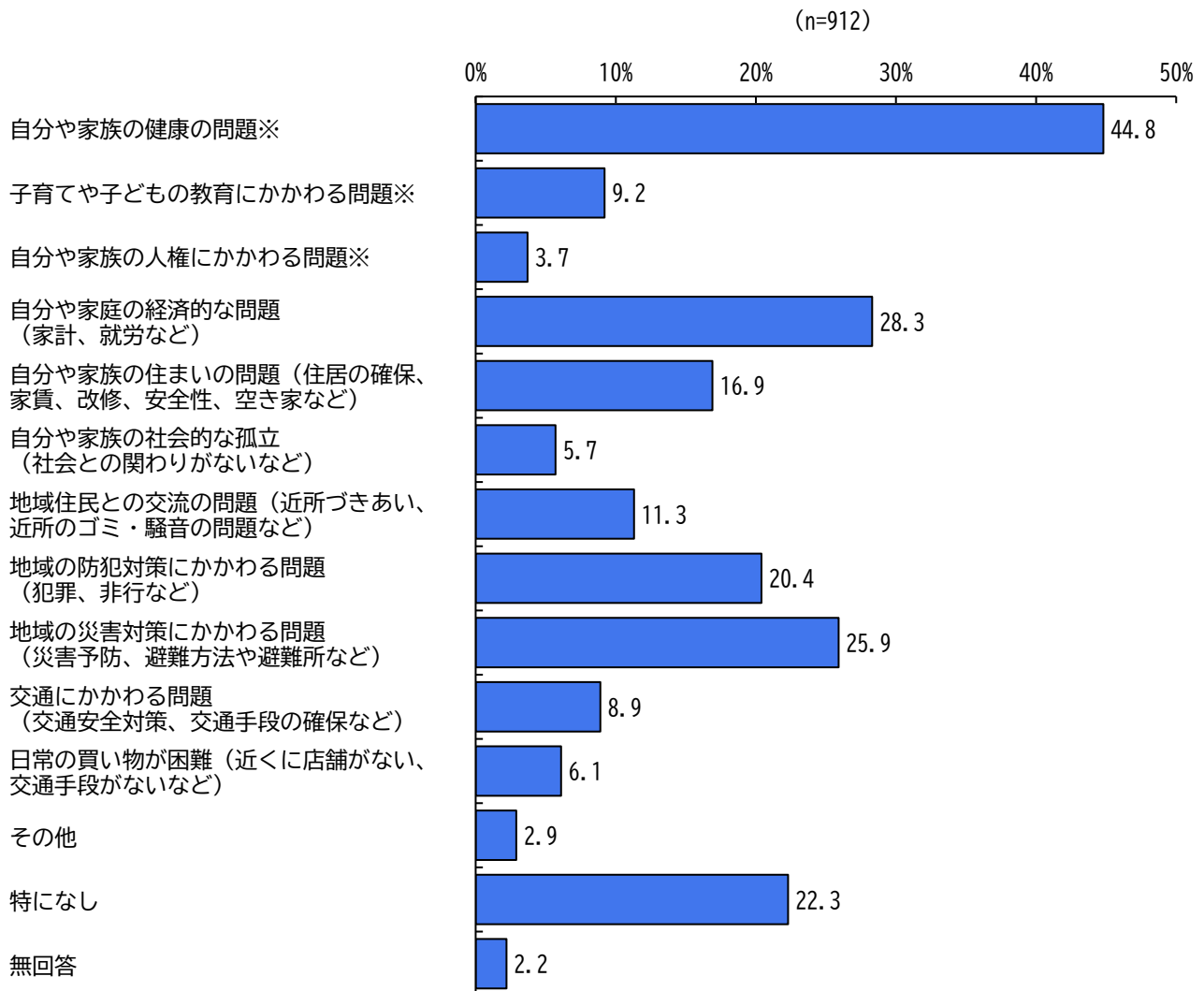
選択肢が変更になったため、単純な比較はできませんが、今回調査では「友人宅」が37.1%で1位でしたが、前回調査では「サークル活動（趣味等）」が37.2%で1位でした。

ミニデイ・サロン：

地域のボランティアが開催している身近な交流の場。例えば、高齢者、障がい者、乳幼児とその保護者などの居場所づくりの活動です。名称はさまざまあります。

(4) 日頃の悩みや不安

問9 あなたは、日頃どのようなことに悩んだり、不安を感じたりしていますか。[○はいくつでも]



※選択肢「自分や家族の健康の問題」は「自分や家族の健康の問題 (自分の病気や障がい、家族の介護や看病など)」

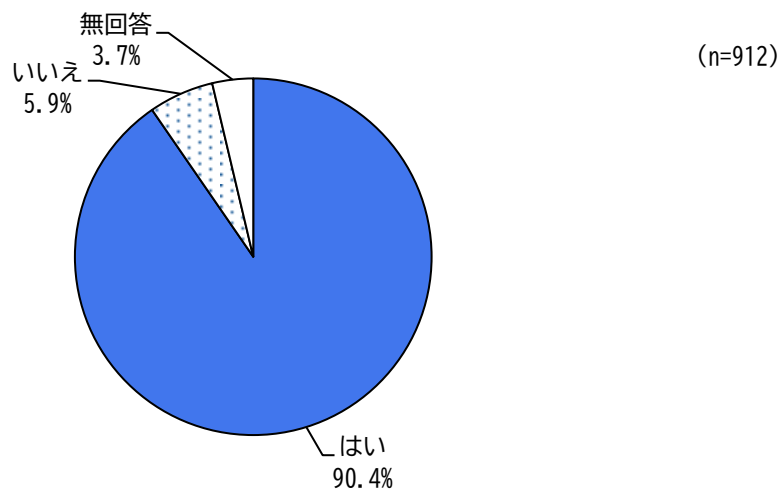
※選択肢「子育てや子どもの教育にかかわる問題」は「子育てや子どもの教育にかかわる問題 (子どもの発達や学習、不登校など)」

※選択肢「自分や家族の人権にかかわる問題」は「自分や家族の人権にかかわる問題 (嫌がらせ、いじめ、差別、暴言、暴力、虐待など)」

日頃の悩みや不安については、「自分や家族の健康の問題 (自分の病気や障がい、家族の介護や看病など)」が44.8%と最も多く、次いで「自分や家庭の経済的な問題 (家計、就労など)」が28.3%、「地域の災害対策にかかわる問題 (災害予防、避難方法や避難所など)」が25.9%などとなっています。

(5) 困ったことがあったり、不安を感じたときの家族への相談可否

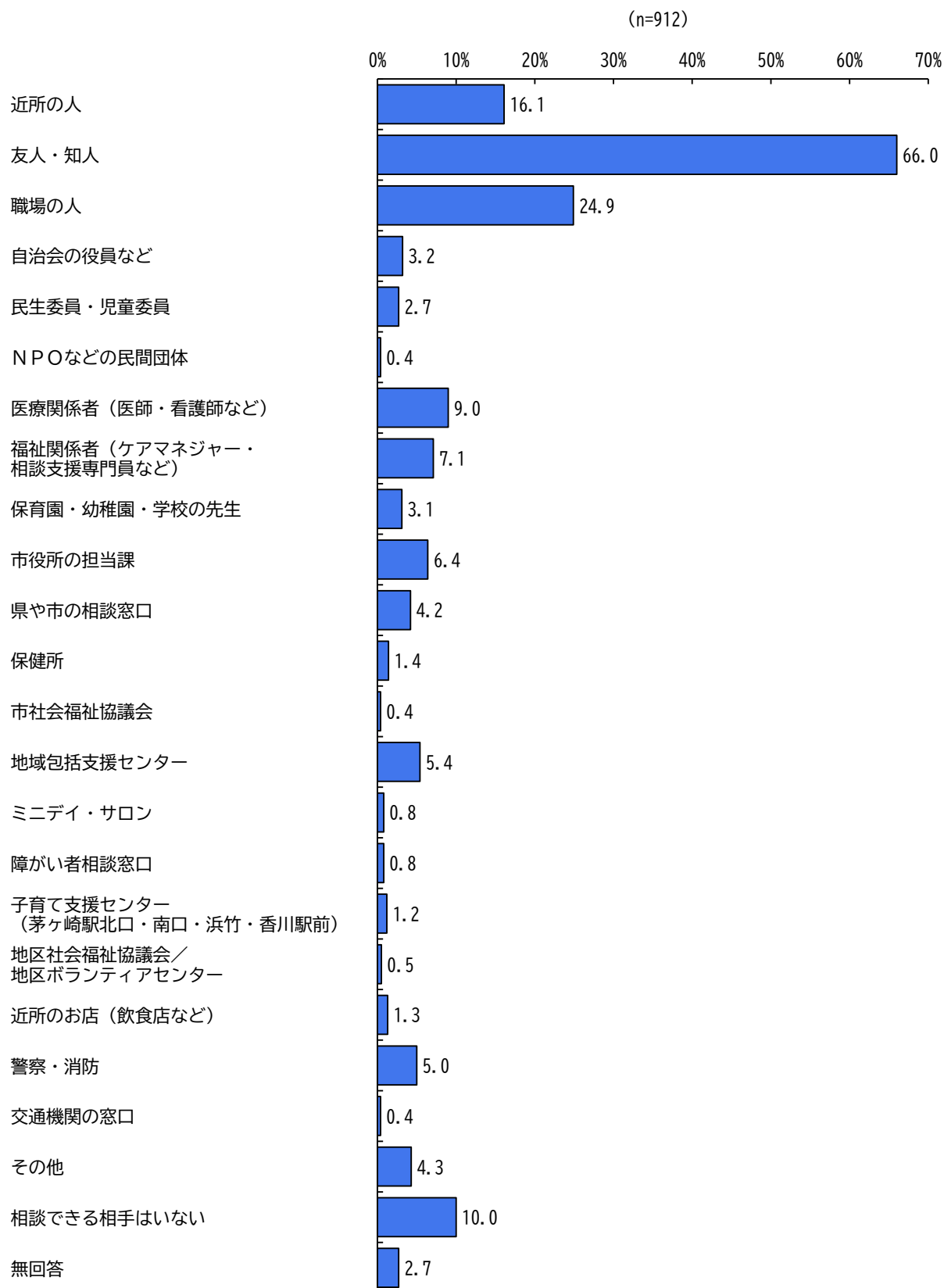
問10 あなたは困ったことがあったり、不安を感じたときに、家族に相談できますか。[○は1つ]



困ったことがあったり、不安を感じたときの家族への相談可否については、「はい」が90.4%、「いいえ」が5.9%となっています。

(6) 困ったことがあったり、不安を感じたときの家族以外の相談相手

問11 あなたは困ったことがあったり、不安を感じたときに、家族以外に相談できる相手はいますか。
[〇はいくつでも]

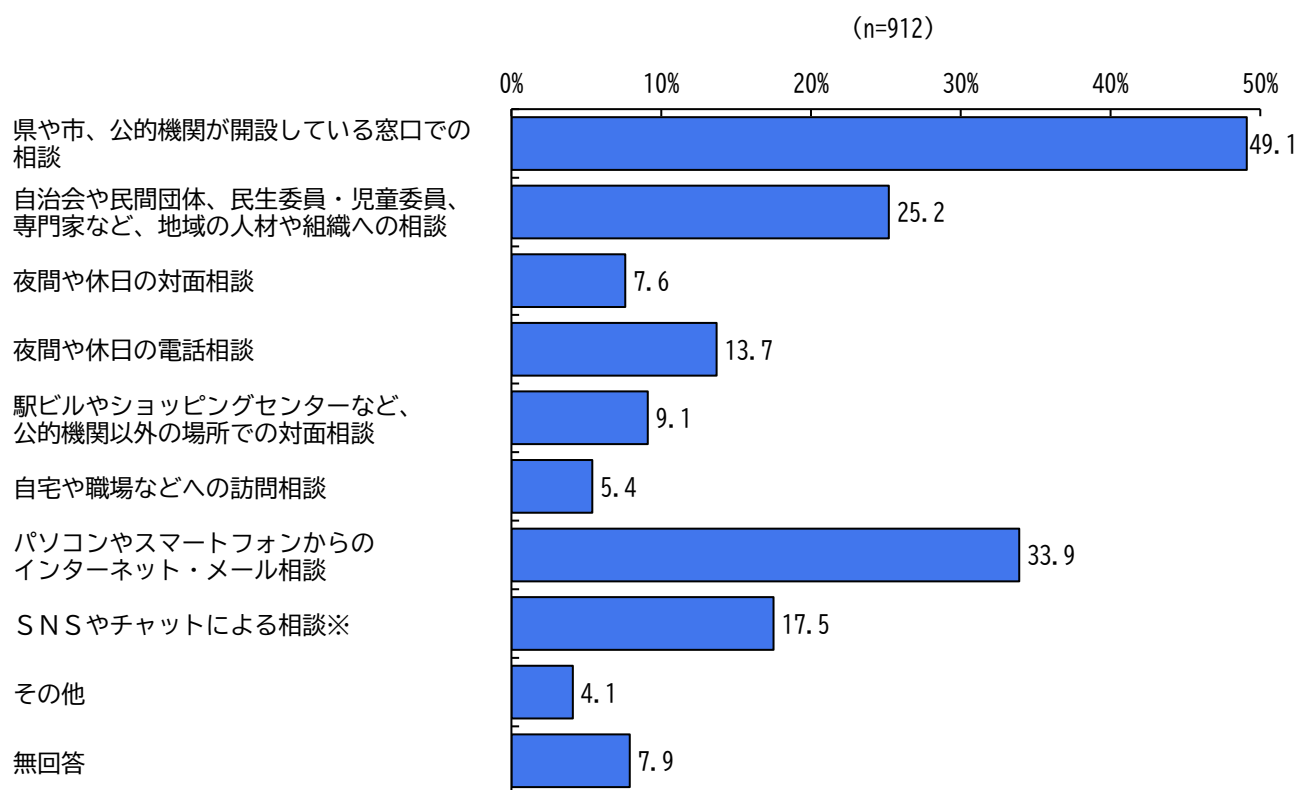


困ったことがあったり、不安を感じたときの家族以外の相談相手については、「友人・知人」が66.0%と最も多く、次いで「職場の人」が24.9%、「近所の人」が16.1%などとなっています。

(7) 悩みや不安について、希望する相談方法

問12 あなたは悩みや不安について、どのような方法で相談できるとよいと思いますか。

[〇は3つまで]

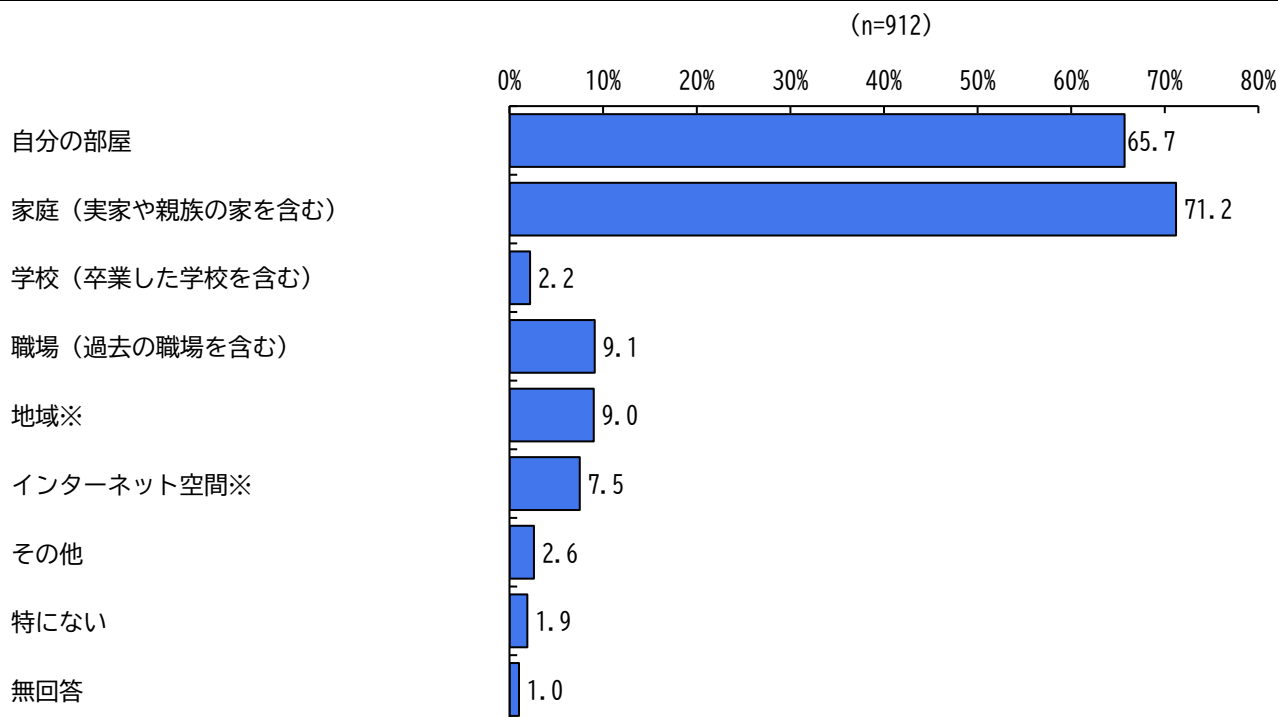


※選択肢「SNSやチャットによる相談」は「SNS（フェイスブック・エックス（旧ツイッター）・LINEなど）やチャットによる相談」

悩みや不安について、希望する相談方法については、「県や市、公的機関が開設している窓口での相談」が49.1%と最も多く、次いで「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」が33.9%、「自治会や民間団体、民生委員・児童委員、専門家など、地域の人材や組織への相談」が25.2%などとなっています。

(8) 居場所

問13 今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）と思えるところはどこですか。〔〇はいくつでも〕



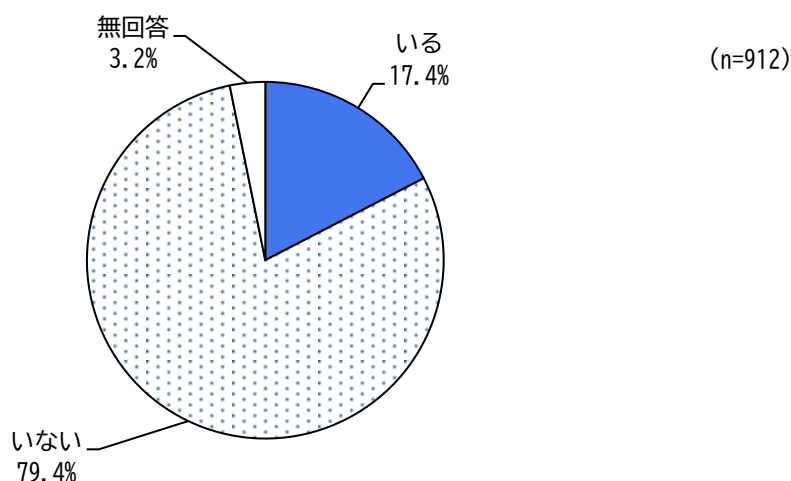
※選択肢「地域」は「地域（ミニデイ・サロンや行きつけの店、公民館、公園など、現在住んでいる場所にある通いの場やコミュニティ）」

※選択肢「インターネット空間」は「インターネット空間（SNS, Y o u T u b e やオンラインゲームなど）」

居場所については、「家庭（実家や親族の家を含む）」が71.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が65.7%、「職場（過去の職場を含む）」が9.1%などとなっています。

(9) 隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人の有無

問14 あなたの隣近所に、困りごとを抱えていて、行政や地域の支援が必要だと感じる人はいますか。〔〇は1つ〕

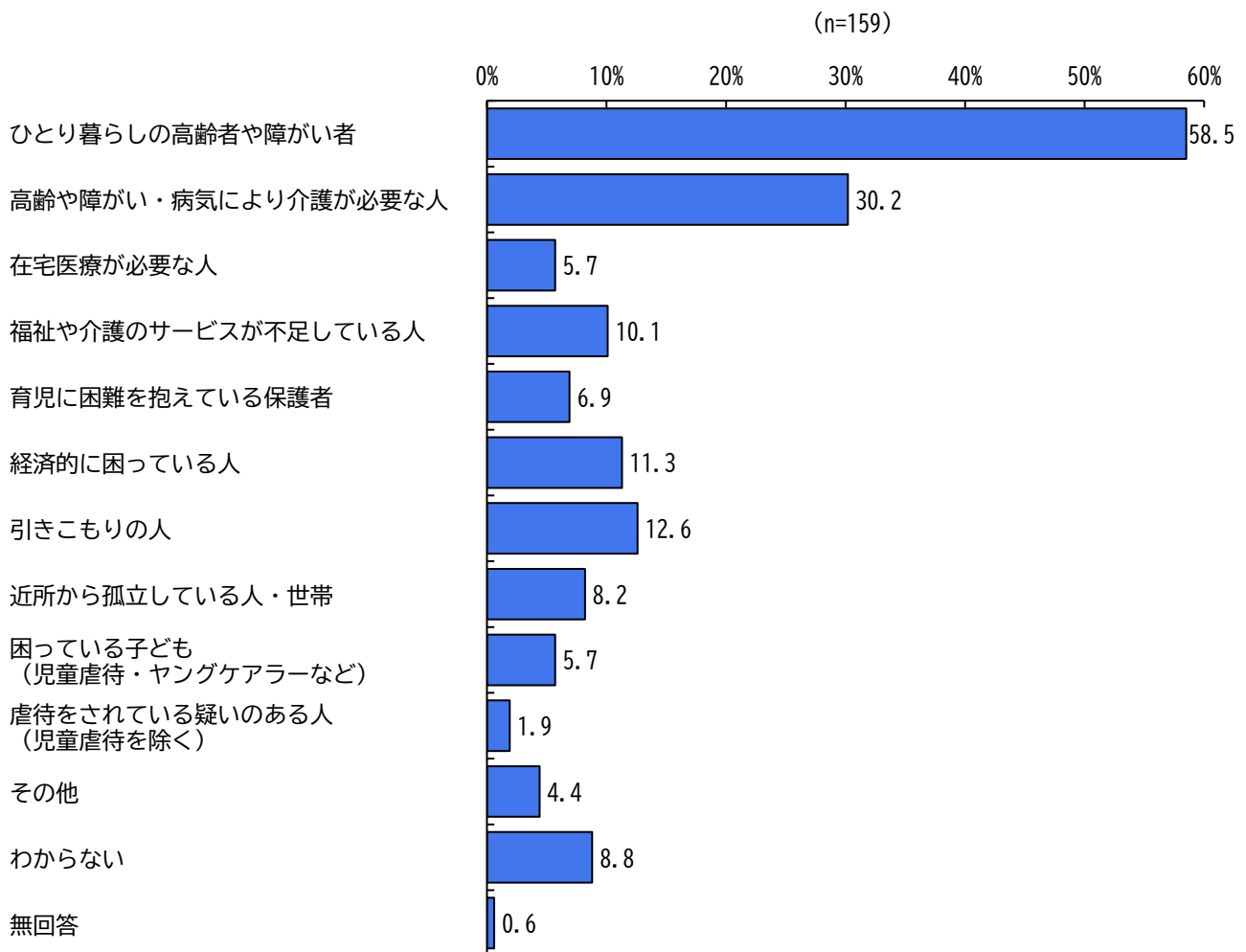


隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人の有無については、「いる」が17.4%、「いない」が79.4%となっています。

(10) 隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人

問14で「1. いる」と回答した方にお聞きます。

問14-2 それはどのような人ですか。[〇はいくつでも]

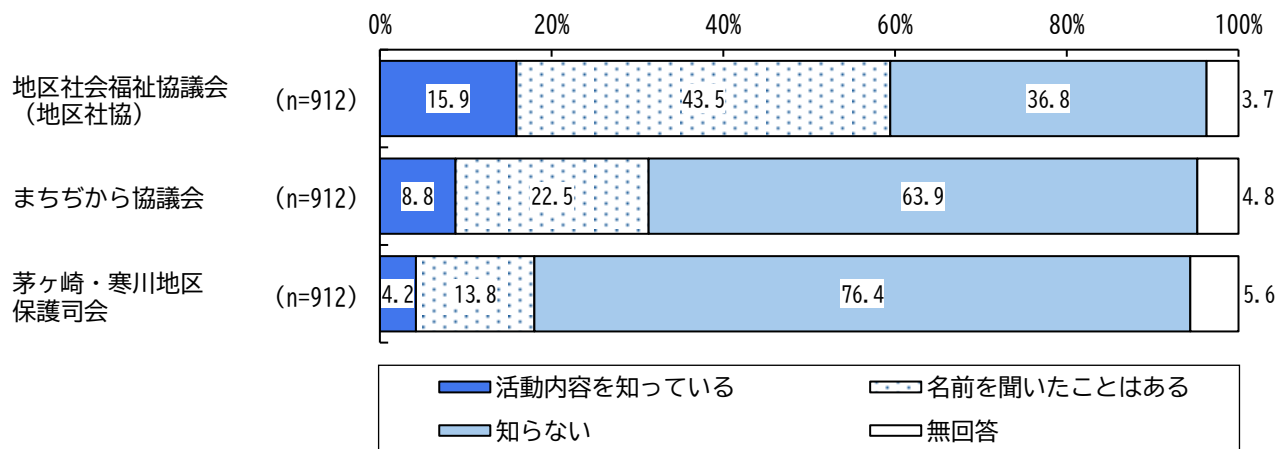


隣近所で、行政や地域の支援が必要だと感じる人については、「ひとり暮らしの高齢者や障がい者」が58.5%と最も多く、次いで「高齢や障がい・病気により介護が必要な人」が30.2%、「引きこもりの人」が12.6%などとなっています。

3. 地域福祉活動について

(1) 団体・組織等の認知度

問15 地域福祉活動にかかわる以下の団体・組織等について、ご自身にあてはまるものをお答えください。[○はそれぞれ1つ]

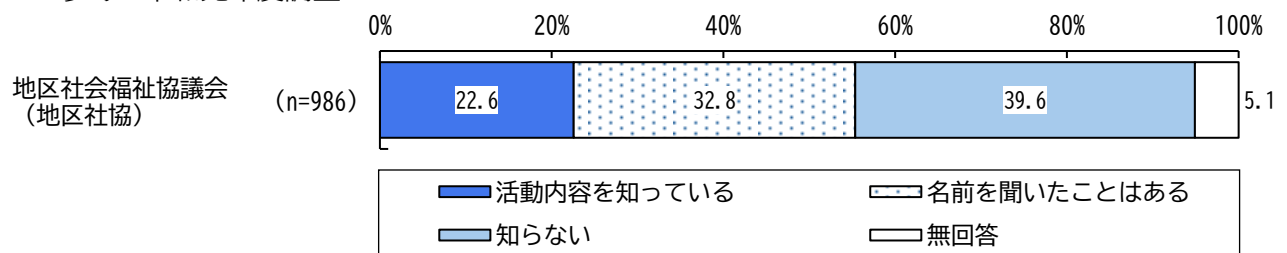


「地区社会福祉協議会（地区社協）」の認知度については、「活動内容を知っている」が15.9%、「名前を聞いたことはある」が43.5%、「知らない」が36.8%となっており、「活動内容を知っている」と「名前を聞いたことはある」を合わせた認知度は59.4%となっています。

「まちぢから協議会」の認知度については、「活動内容を知っている」が8.8%、「名前を聞いたことはある」が22.5%、「知らない」が63.9%となっており、「活動内容を知っている」と「名前を聞いたことはある」を合わせた認知度は31.3%となっています。

「茅ヶ崎・寒川地区保護司会」の認知度については、「活動内容を知っている」が4.2%、「名前を聞いたことはある」が13.8%、「知らない」が76.4%となっており、「活動内容を知っている」と「名前を聞いたことはある」を合わせた認知度は18.0%となっています。

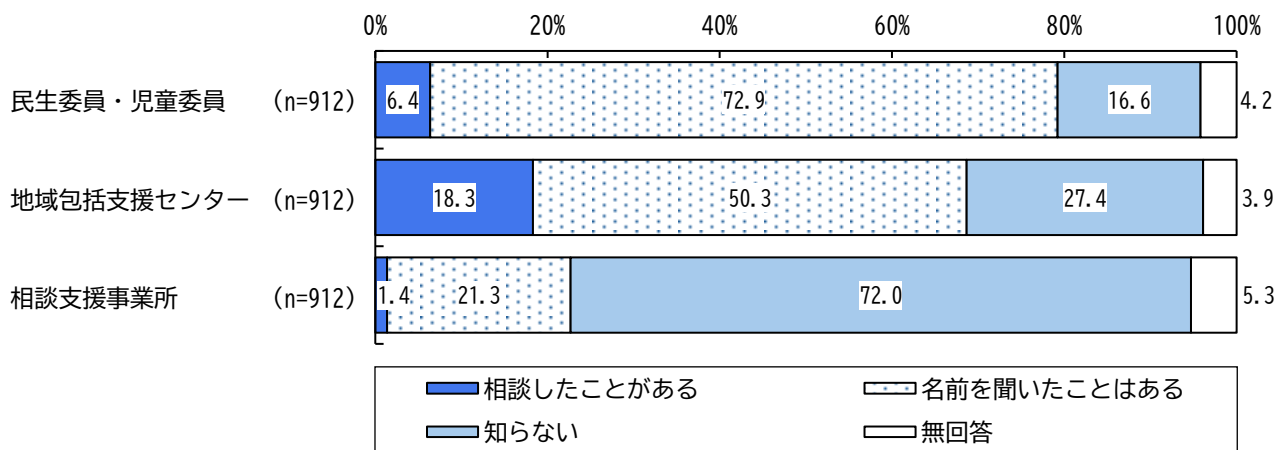
<参考 令和元年度調査>



「地区社会福祉協議会（地区社協）」の認知度について今回調査では「名前を聞いたことはある」が43.5%で1位でしたが、前回調査では「知らない」が39.6%で1位でした。

■組織等

団体・組織等	活動内容
地区社会福祉協議会 (地区社協)	自治会や福祉関係者、地域住民などが協力して地域福祉を推進するための組織です。福祉まつりやミニデイ・サロン活動、地区ボランティアセンター活動などの取り組みを行っています。
まちぢから協議会	地域で活動している各種団体をはじめ、その地域に関わりのある方々によって構成され、自分の地域をより良くしていくための話し合いが行われる場です。団体に属していなくても公募委員や部会参加などを通して参加できます。
茅ヶ崎・寒川地区保護司会	地域におけるネットワークづくりや保護司研修の実施、「社会を明るくする運動」等の犯罪予防活動等を行っています。



「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」、「相談支援事業所」の認知度（「相談したことがある」と「名前を聞いたことはある」の合計）については、「民生委員・児童委員」が79.3%と最も多くなっています。

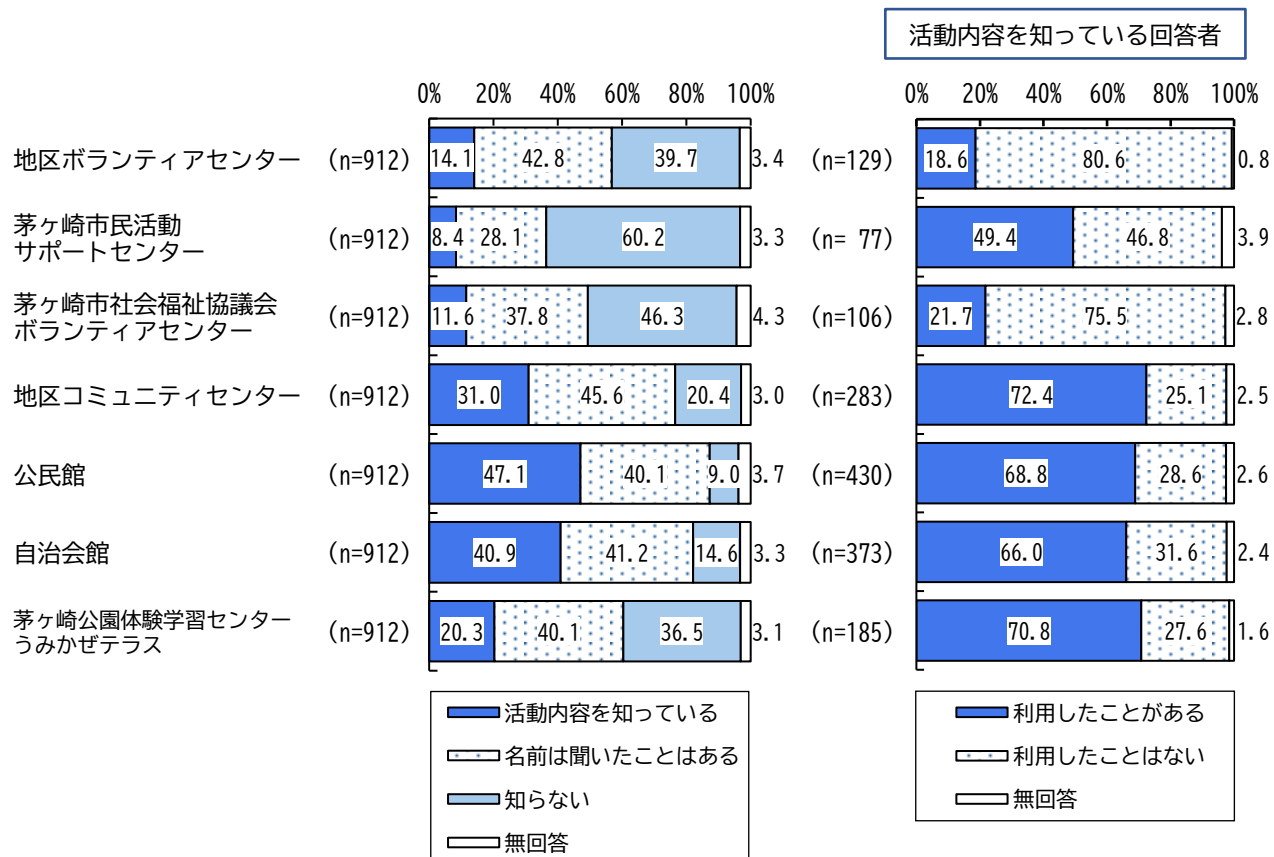
「相談したことがある」の割合は、「地域包括支援センター」が18.3%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が6.4%、「相談支援事業所」が1.4%となっています。

■窓口等

団体・組織等	活動内容
民生委員・児童委員	地域の身近な相談役です。高齢者、子育て中の方、障がいのある方、生活にお困りの方などの相談に親身に応じ、行政や福祉機関のサービスを紹介したり、担当機関につないだりするパイプ役も担います。
地域包括支援センター	介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメント等のほか、権利擁護のために必要な援助も総合的に行う機関です。茅ヶ崎市内13か所に設置されています。
相談支援事業所	障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等のほか、権利擁護のために必要な援助も行う機関です。茅ヶ崎市内4か所に設置されています。

(2) 活動拠点の認知度

問15-2 地域福祉活動・地域のボランティア活動にかかわる以下の拠点において、ご自身にあてはまるものをお答えください。[〇はそれぞれ1つ]



地域福祉活動・地域のボランティア活動の認知度(「活動内容を知っている」と「名前は聞いたことはある」の合計)については、「公民館」が87.2%と最も多くなっています。

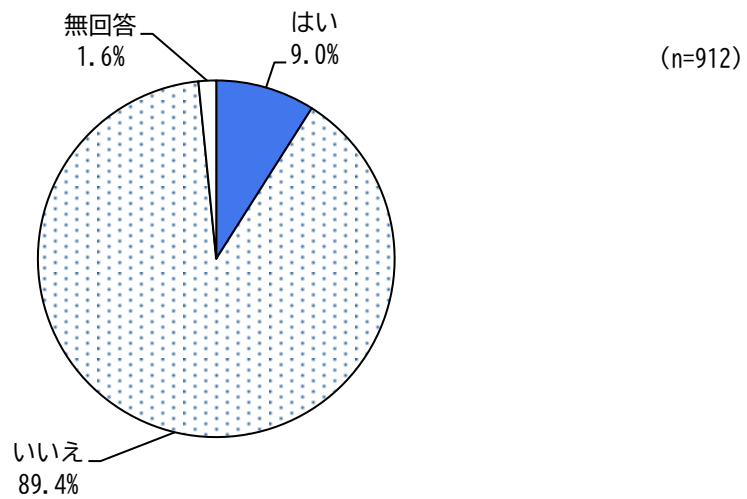
「活動内容を知っている」と答えた回答者のなかで、「利用したことがある」と答えた回答者の割合が最も多いのは、「地区コミュニティセンター」が72.4%となっています。

■地域福祉活動・地域のボランティア活動の拠点

拠点	参考説明
地区ボランティアセンター	地域住民の日常の「ちょっとした困りごと」の相談に応じる、地域の助け合い活動の窓口です。支援の担い手となるのも、同じ地域に住む住民のボランティアです。茅ヶ崎市内の13地区全てに設置されています。
茅ヶ崎市民 活動サポートセンター	平成14年に設置され、市民活動団体やボランティアなど、営利を目的とせず公益的な活動を行っている人達や、これから活動しようと考えている人達を支援します。（主な活動：場の提供/情報の収集・提供/相談・コーディネート/人材の育成・交流促進/連携・協働の推進）
茅ヶ崎市社会福祉協議会 ボランティアセンター	市社会福祉協議会内のボランティアに関する相談窓口です。活動したい人・協力を必要とする人等から相談を受け、調整を行います。また、ボランティア活動の普及や支援のため、情報提供や講座・研修の開催、ボランティア保険の加入などにも対応しています。
地区コミュニティセンター	市民がどなたでも利用できる多目的施設で、各地域のコミュニティ活動や情報発信の拠点として利用されています。多目的室、会議室、学習室、調理室など、目的に応じて利用いただけます。市内11か所に設置しています。
公民館	地域住民の学習・スポーツ・文化・創作・地域活動等の学校以外の教育を推進する施設です。学習相談や学習情報の提供を受けることもできます。また、各種団体の活動の場として利用できます。市内5か所に設置しています。
自治会館	住民の方達が生活する地域を基盤とする自治会の集会所です。町内会・自治会などの住民団体の集会や、住民の方同士のふれあいの場、活動の場、学習の場などとして利用できる施設です。
茅ヶ崎公園 体験学習センター うみかぜテラス	海岸青少年会館と福祉会館を複合化により再整備し、平成31年1月にオープンしました。茅ヶ崎公園が持つ「みどり」や「海」といった風光明媚な環境を生かした様々な学びや体験を通じて、子どもから高齢者まであらゆる世代が交流できる施設を目指します。

(3) 地域のボランティア活動への参加の有無

問16 あなたは現在、地域のボランティア活動（地域のちょっとした助け合い活動も含む）に参加していますか。[○は1つ]

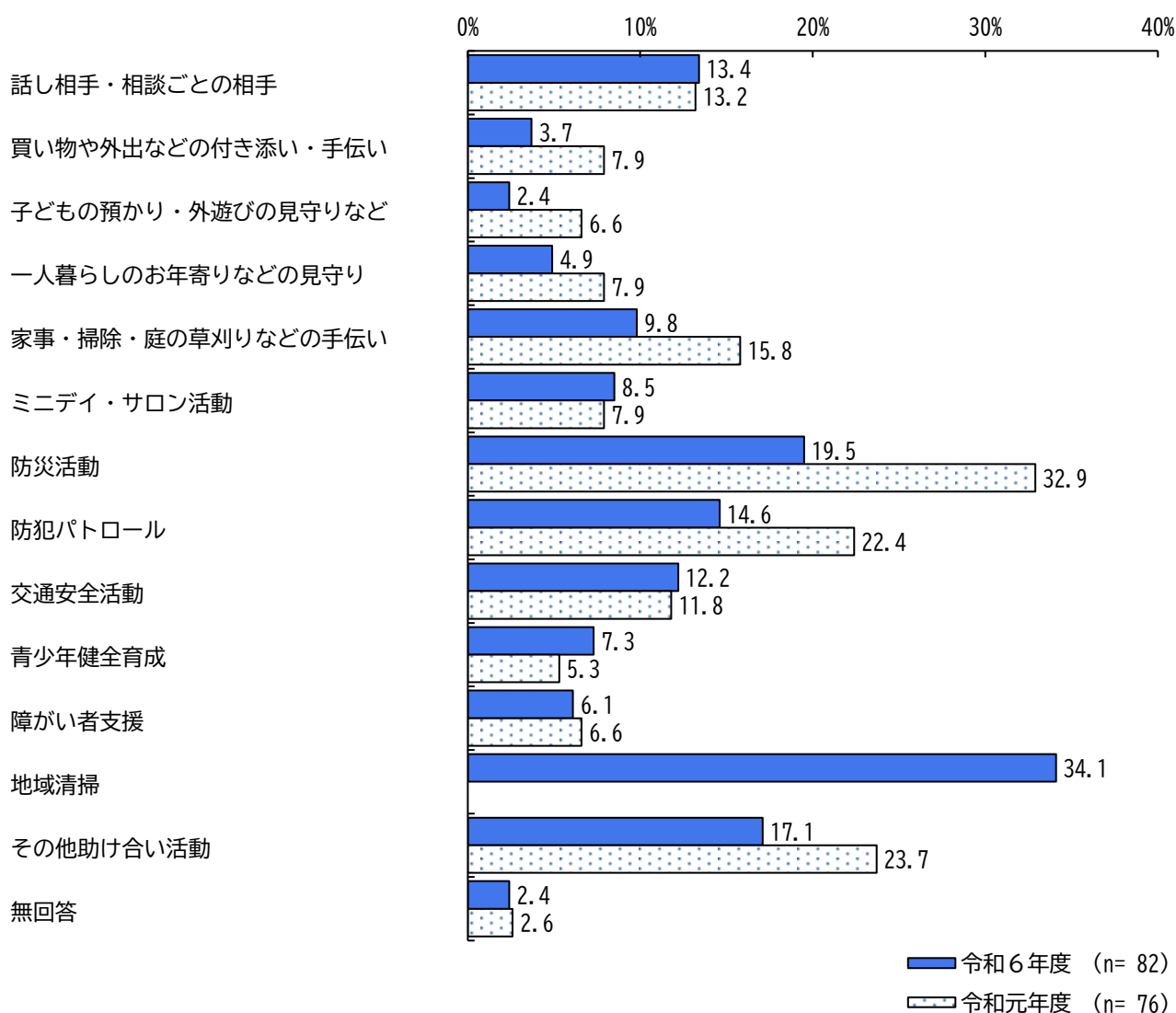


地域のボランティア活動への参加の有無については、「はい」が9.0%、「いいえ」が89.4%となっています。

(4) 参加している地域のボランティア活動

問16で「1. はい」と回答した方にお聞きます。

問16-2 それはどのような活動ですか。[○はいくつでも]



※選択肢「地域清掃」は令和6年度のみ

※選択肢「家事・掃除・庭の草刈りなどの手伝い」は令和元年度では「家事・掃除・庭の草刈りなどの簡単な手伝い」

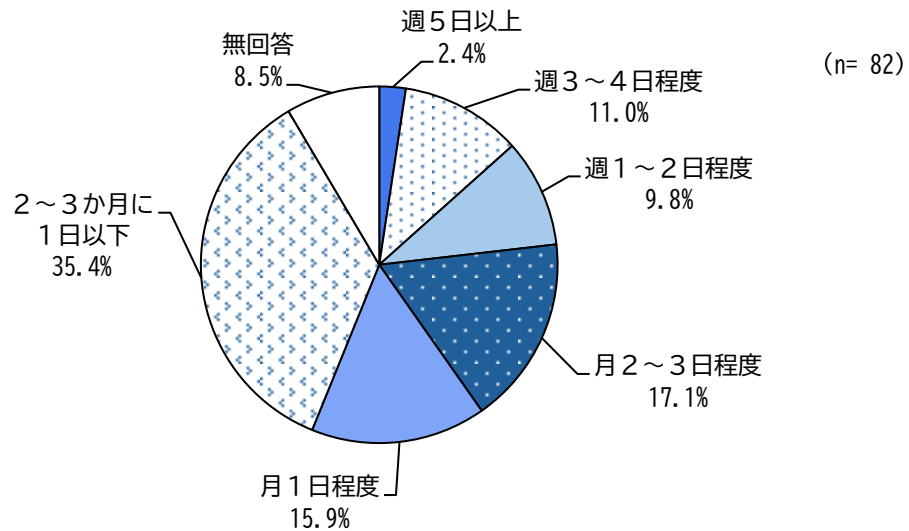
参加している地域のボランティア活動については、「地域清掃」が34.1%と最も多く、次いで「防災活動」が19.5%、「防犯パトロール」が14.6%などとなっています。

選択肢が変更になったため、単純な比較はできませんが、今回調査では「地域清掃」が34.1%で1位でしたが、前回調査では「防災活動」が32.9%で1位でした。

(5) 地域のボランティア活動の頻度

問16で「1. はい」と回答した方にお聞きます。

問16-3 あなたはどのくらいの頻度で地域のボランティア活動をしていますか。[○は1つ]

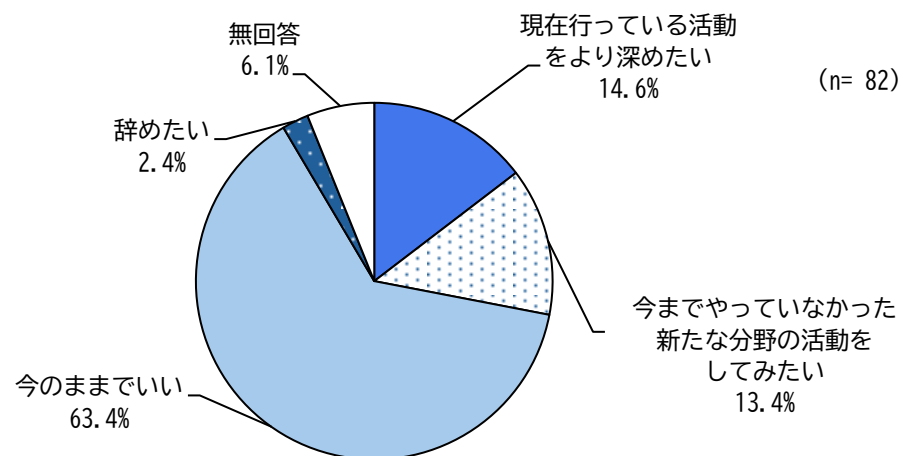


地域のボランティア活動の頻度については、「2~3か月に1日以下」が35.4%と最も多く、次いで「月2~3日程度」が17.1%、「月1日程度」が15.9%などとなっています。

(6) 自分のしているボランティア活動に対する考え

問16で「1. はい」と回答した方にお聞きます。

問16-4 あなたは、自分のしているボランティア活動について、どのようにお考えですか。[○は1つ]

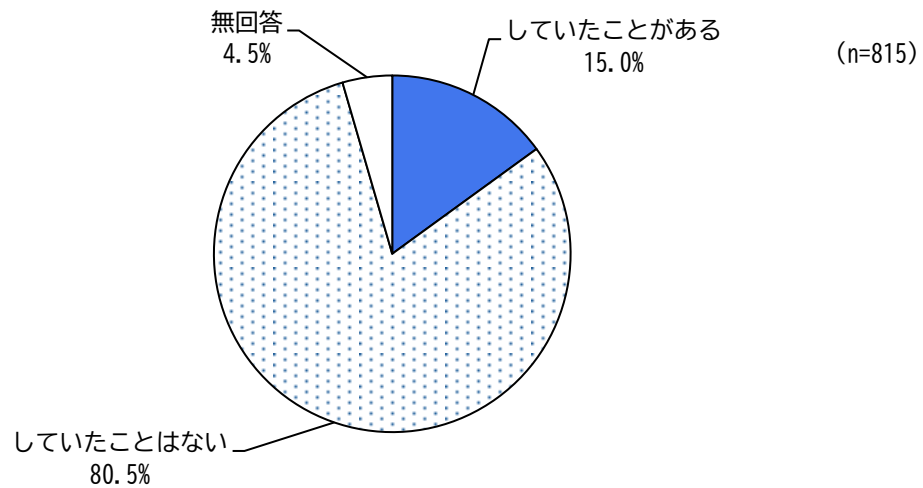


自分のしているボランティア活動に対する考えについては、「現在行っている活動をより深めたい」が14.6%、「今までやっていなかった新たな分野の活動をしてみたい」が13.4%、「今のままでいい」が63.4%、「辞めたい」が2.4%となっています。

(7) 過去の地域のボランティア活動への参加の有無

問16で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問17 あなたは、過去に地域のボランティア活動（地域のちょっとした助け合い活動も含む）をしていたことはありますか。[○は1つ]

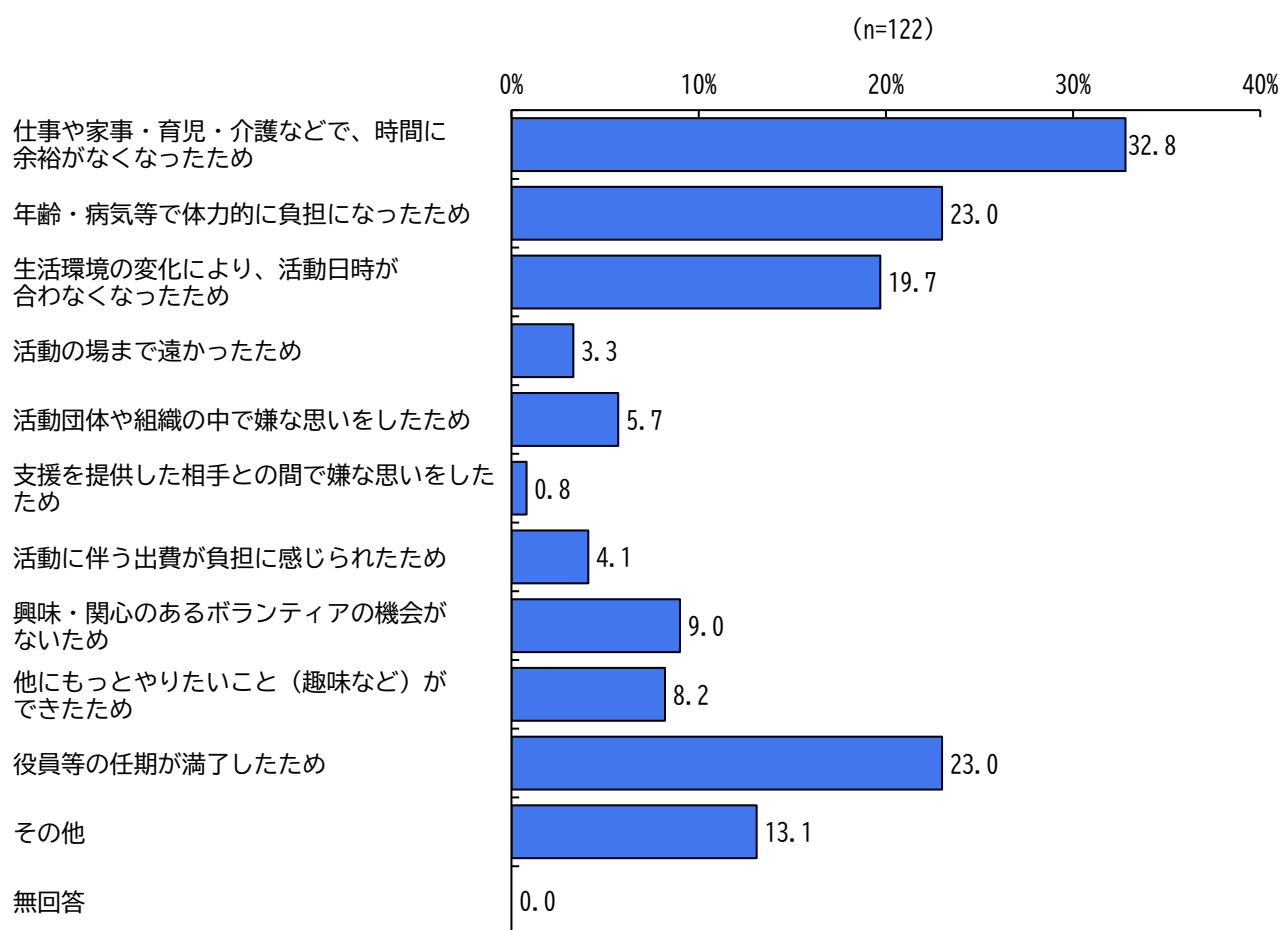


過去の地域のボランティア活動への参加の有無については、「していたことがある」が15.0%、「していたことはない」が80.5%となっています。

（８）地域のボランティア活動を辞めた理由

問17で「１．していたことがある」と回答した方にお聞きます。

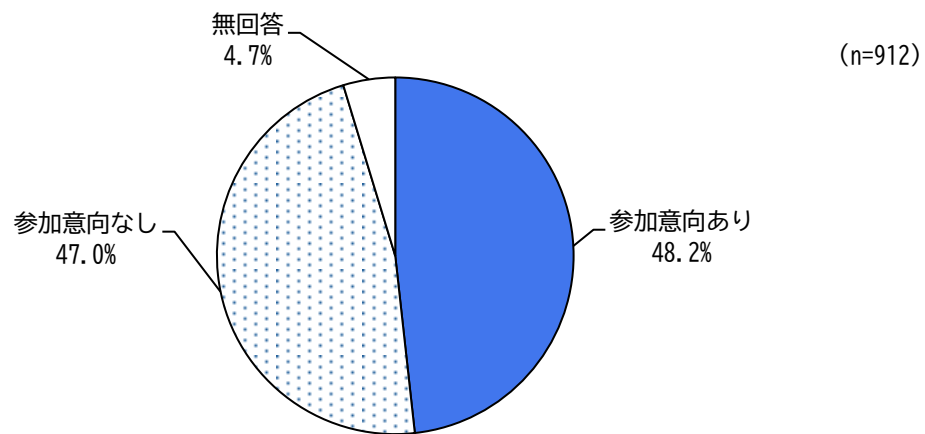
問17-2 あなたが地域のボランティア活動を辞めた理由をお答えください。[○はいくつでも]



地域のボランティア活動を辞めた理由については、「仕事や家事・育児・介護などで、時間に余裕がなくなったため」が32.8%と最も多く、次いで「年齢・病気等で体力的に負担になったため」、「役員等の任期が満了したため」が23.0%、「生活環境の変化により、活動日時が合わなくなったため」が19.7%などとなっています。

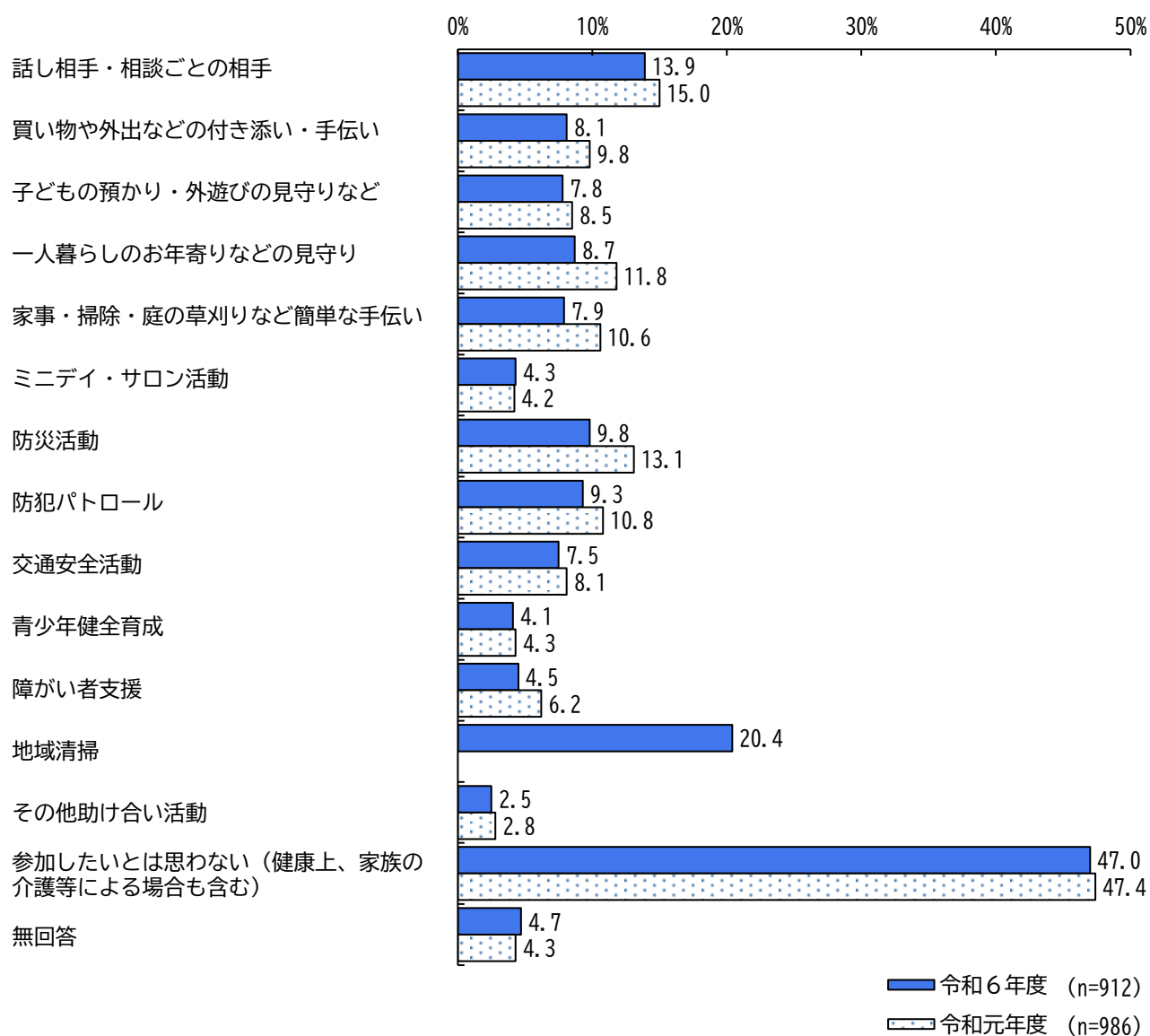
(9) 今後、参加してみたいと思う地域のボランティア活動

問18 あなたは今後、どのような地域のボランティア活動（地域のちょっとした助け合い活動も含む）に参加してみたいと思いますか。〔〇はいくつでも〕
※現在参加している方も、今後の継続や新規の活動についての希望をお答えください。



地域のボランティア活動への参加意向については、「参加意向あり」が48.2%、「参加意向なし」が47.0%となっています。

※参加意向ありとは、回答者全員から「参加したいと思わない（参加意向なし）」と無回答を除いた割合（回答人数をもとに計算しているため、割合（％）の加減とは一致しない）



※選択肢「地域清掃」は令和6年度のみ

今後、参加してみたいと思う地域のボランティア活動については、「地域清掃」が20.4%と最も多く、次いで「話し相手・相談ごとの相手」が13.9%、「防災活動」が9.8%などとなっています。また、「参加したいとは思わない（健康上、家族の介護等による場合も含む）」が47.0%となっています。

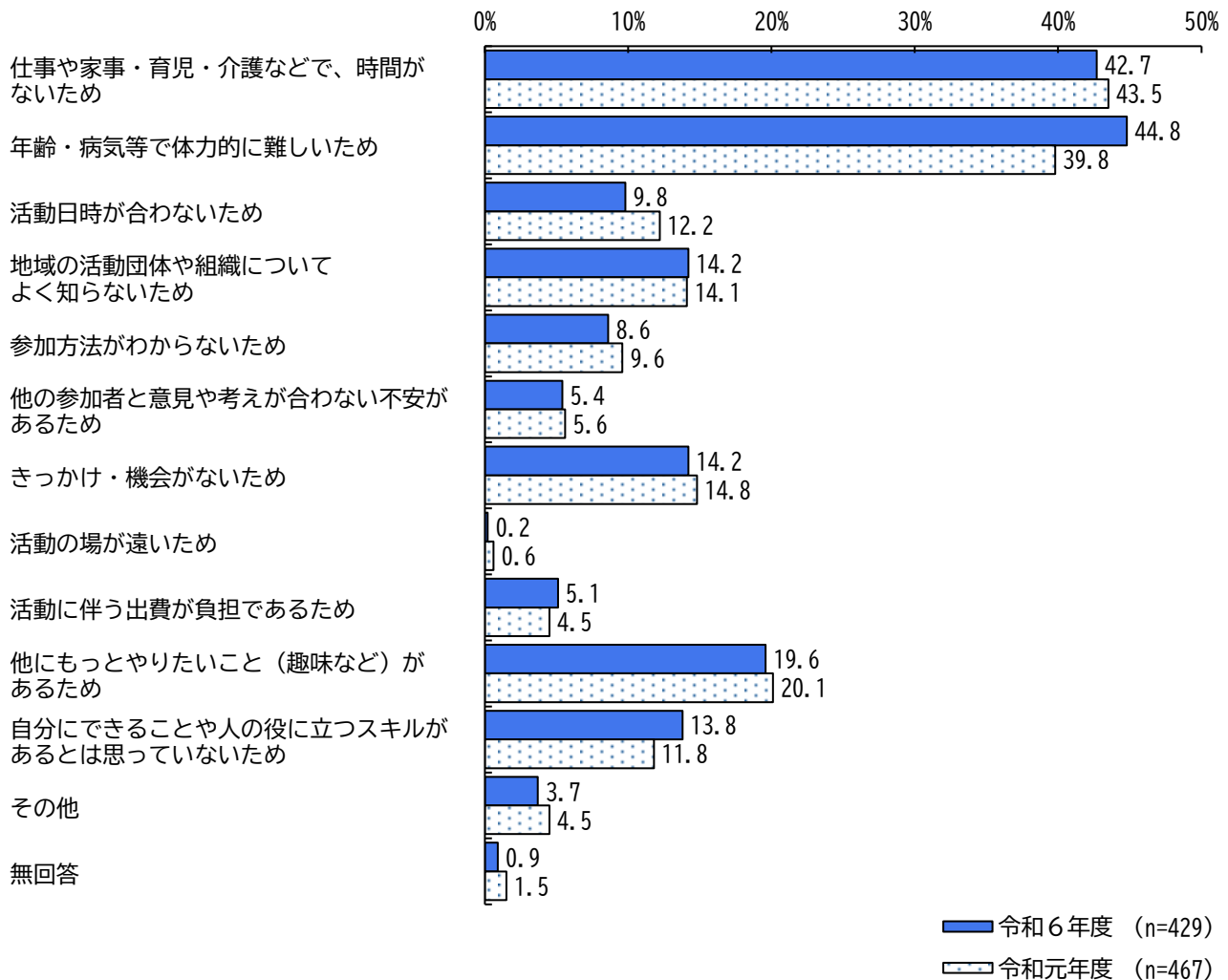
選択肢が変更になったため、単純な比較はできませんが、今回調査では「地域清掃」が20.4%で1位でしたが、前回調査では「話し相手・相談ごとの相手」が15.0%で1位でした。

(10) 地域のボランティア活動に参加したいと思わない理由

問18で「14. 参加したいと思わない」と回答した方にお聞きます。

問18-2 あなたが地域のボランティア活動に参加したいと思わない理由をお答えください。

[〇はいくつでも]

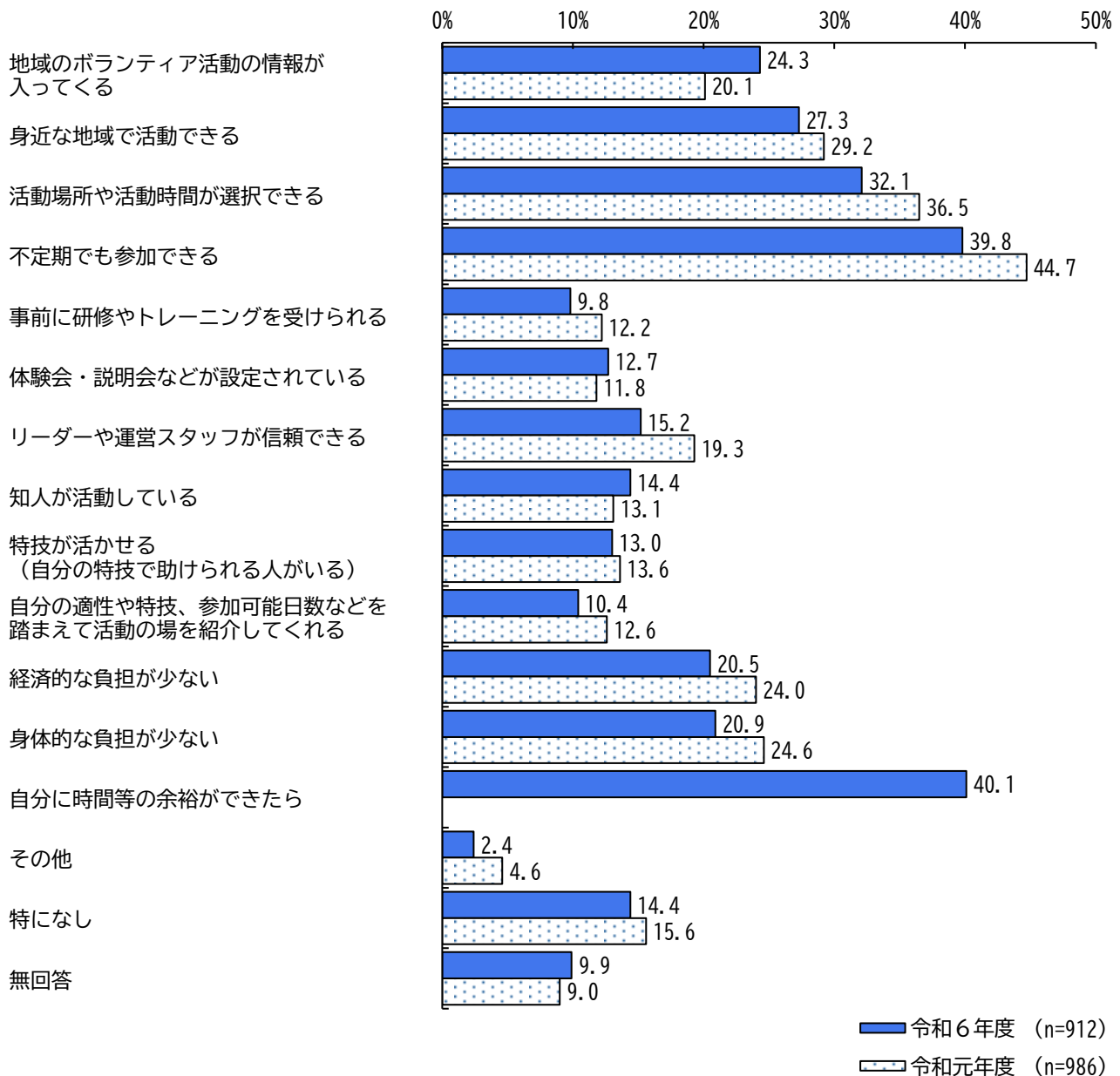


地域のボランティア活動に参加したいと思わない理由については、「年齢・病気等で体力的に難しいため」が44.8%と最も多く、次いで「仕事や家事・育児・介護などで、時間がないため」が42.7%、「他にもっとやりたいこと（趣味など）があるため」が19.6%などとなっています。

今回調査では「年齢・病気等で体力的に難しいため」が44.8%で1位でしたが、前回調査では「仕事や家事・育児・介護などで、時間がないため」が43.5%で1位でした。

(11) 地域のボランティア活動に参加する条件

問19 あなたはどのような条件が合えば、地域のボランティア活動に参加するきっかけになると思いますか。〔〇はいくつでも〕



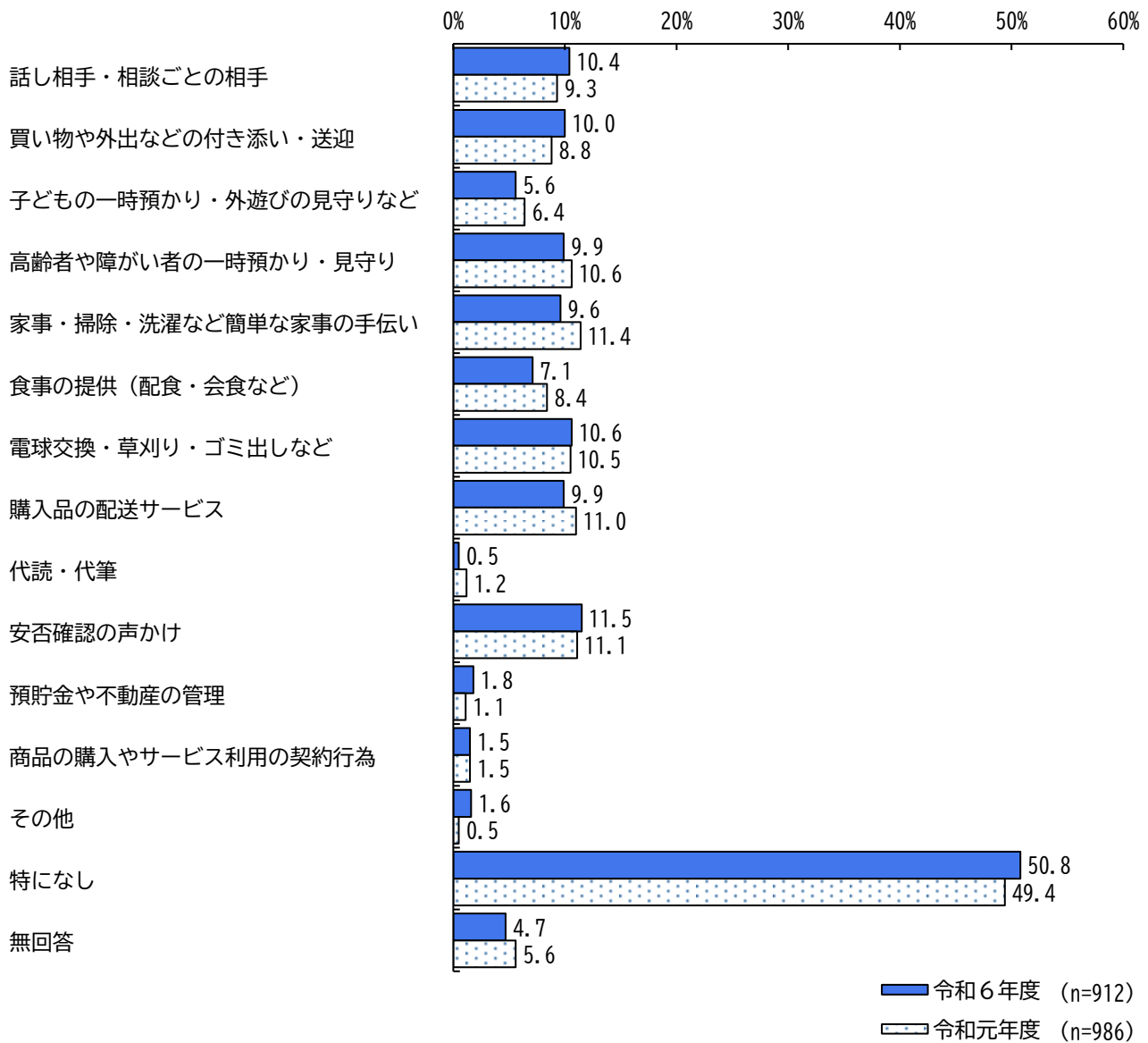
※選択肢「自分に時間等の余裕ができたなら」は令和6年度のみ

地域のボランティア活動に参加する条件については、「自分に時間等の余裕ができたなら」が40.1%と最も多く、次いで「不定期でも参加できる」が39.8%、「活動場所や活動時間が選択できる」が32.1%などとなっています。

選択肢が変更になったため、単純な比較はできませんが、今回調査では「自分に時間等の余裕ができたなら」が40.1%で1位でしたが、前回調査では「不定期でも参加できる」が44.7%で1位でした。

(12) 受けたいと思う支援

問20 あなたは現在もしくは近い将来、どのような支援を受けたいですか。[〇はいくつでも]



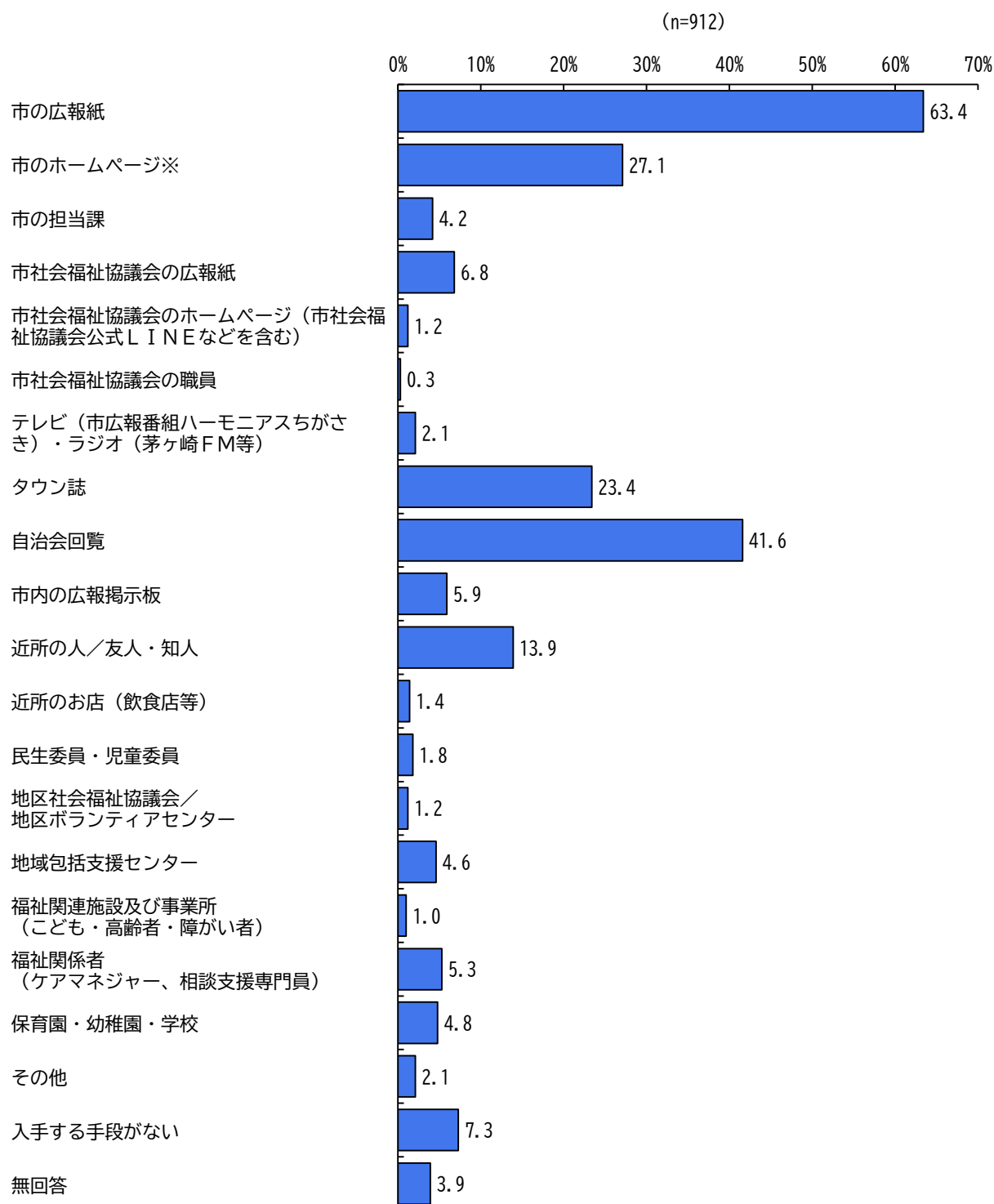
受けたいと思う支援については、「安否確認の声かけ」が11.5%と最も多く、次いで「電球交換・草刈り・ゴミ出しなど」が10.6%、「話し相手・相談ごとの相手」が10.4%などとなっています。また、「特になし」が50.8%となっています。

今回調査では「安否確認の声かけ」が11.5%で1位でしたが、前回調査では「家事・掃除・洗濯など簡単な家事の手伝い」が11.4%で1位でした。

4. 福祉に関する情報について

(1) 市内の福祉情報の入手手段

問21 市内の福祉情報（例えば、ボランティア・介護・子育て・障がい・生活支援・国民健康保険など）を主にどこから入手していますか。〔〇はいくつでも〕



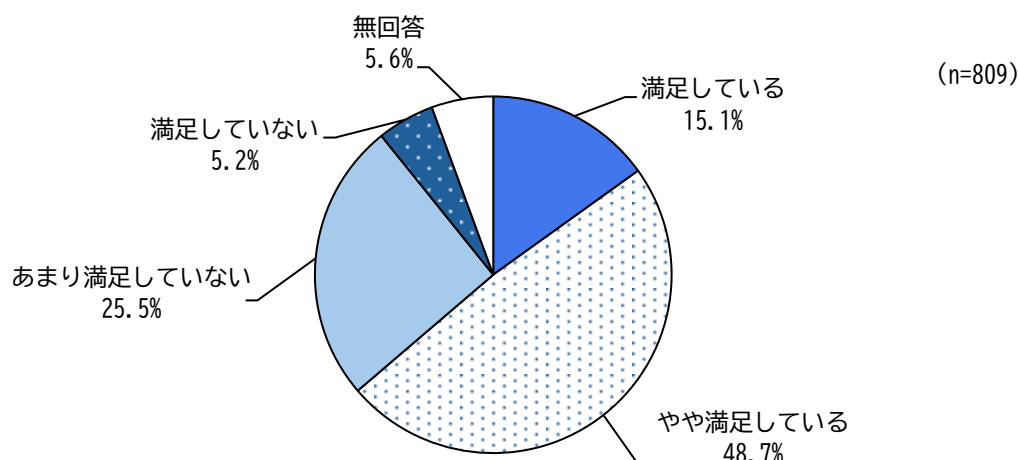
※選択肢「市のホームページ」は「市のホームページ（市公式フェイスブック・エックス（旧ツイッター）・LINEなどを含む）」

市内の福祉情報の入手手段については、「市の広報紙」が63.4%と最も多く、次いで「自治会回覧」が41.6%、「市のホームページ」が27.1%などとなっています。

（２）市内の福祉情報の満足度

問21で「１．～19.」と回答した方にお聞きします。

問21-2 日頃入手している市内の福祉情報について、どのように感じていますか。〔〇は１つ〕

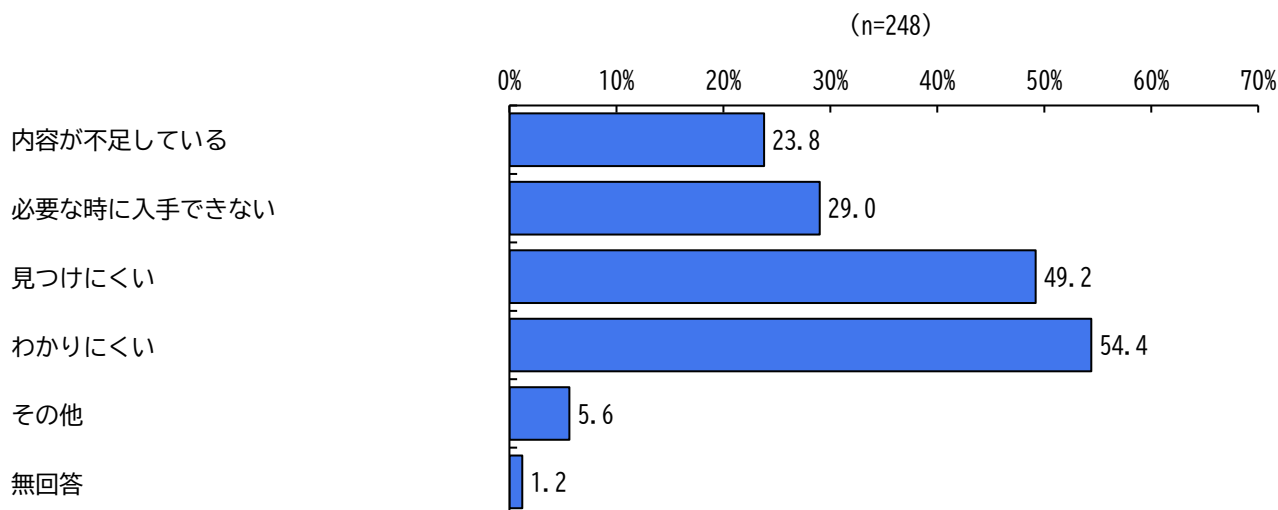


市内の福祉情報の満足度については、「満足している」が15.1%、「やや満足している」が48.7%、「あまり満足していない」が25.5%、「満足していない」が5.2%となっています。

（３）市内の福祉情報に満足していない理由

問21-2で「３．あまり満足していない」、「４．満足していない」と回答した方にお聞きします。

問21-3 市内の福祉情報の入手について、満足していない理由は何ですか。〔〇はいくつでも〕

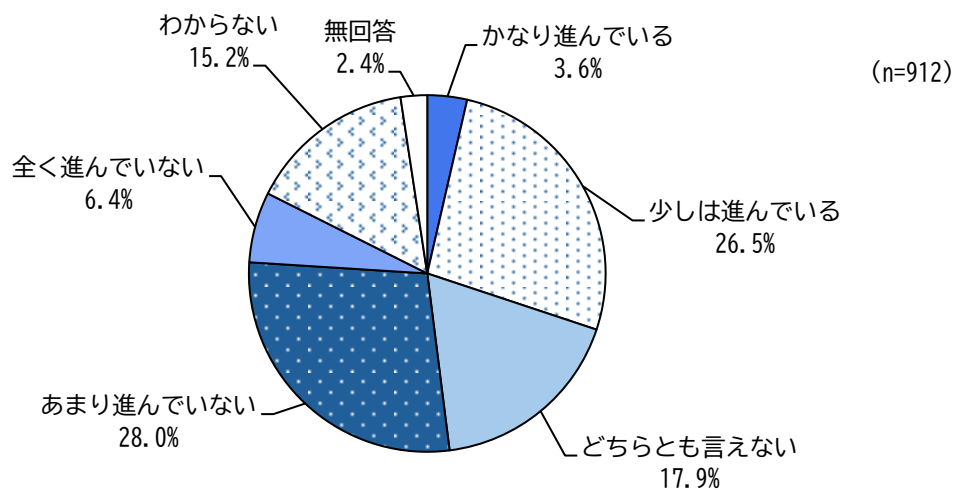


市内の福祉情報に満足していない理由については、「わかりにくい」が54.4%と最も多く、次いで「見つけにくい」が49.2%、「必要な時に入手できない」が29.0%などとなっています。

5. バリアフリー化について

(1) 市内のバリアフリー化に対する考え

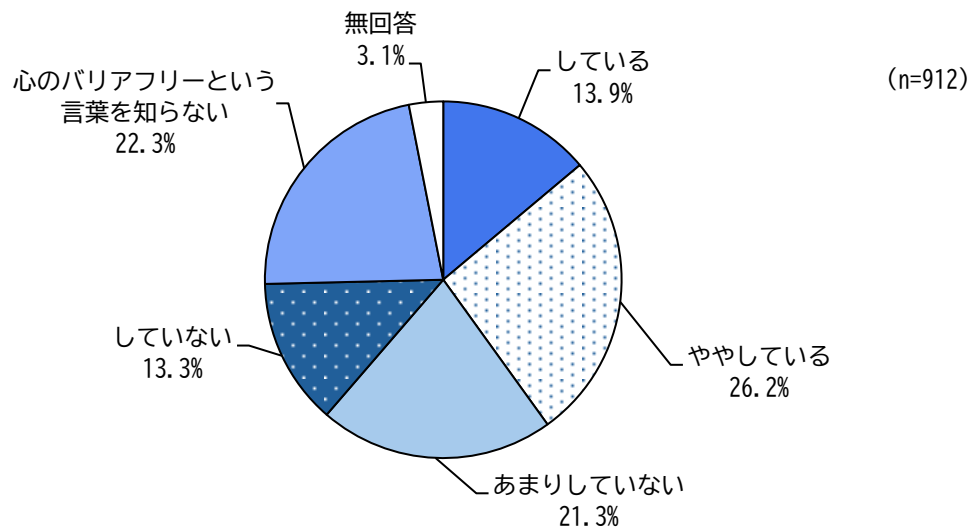
問22 市では、市内の道路や公共施設などについて、段差の解消やエレベーターの設置など、バリアフリー化を進めています。あなたは、市内の道路や公共施設のバリアフリー化が進んでいると感じますか。〔〇は1つ〕



市内のバリアフリー化に対する考えについては、「あまり進んでいない」が28.0%と最も多く、次いで「少しは進んでいる」が26.5%、「どちらとも言えない」が17.9%などとなっています。

(2) 心のバリアフリーを意識した行動

問23 あなたは日頃、心のバリアフリーを意識して行動していますか。[○は1つ]



心のバリアフリーを意識した行動については、「ややしている」が26.2%と最も多く、次いで「心のバリアフリーという言葉を知らない」が22.3%、「あまりしていない」が21.3%などとなっています。

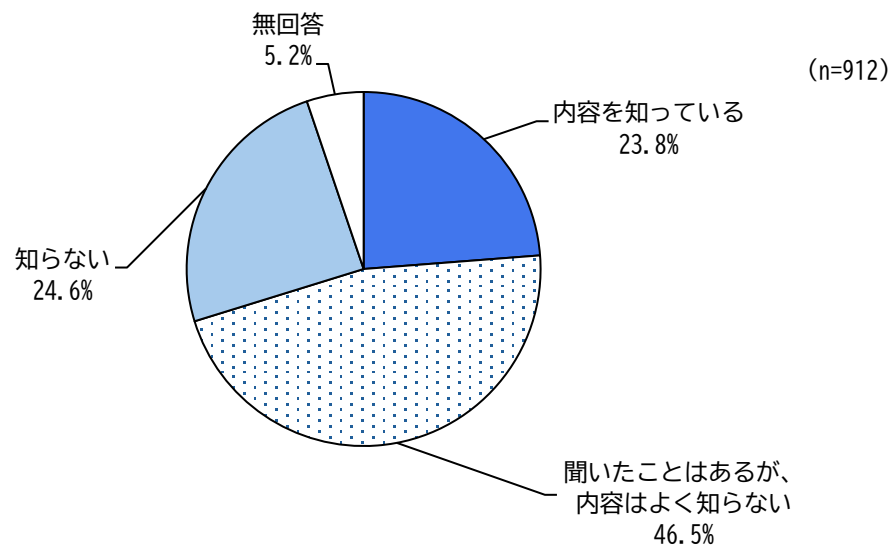
心のバリアフリー：

道路や建物をバリアフリー化するだけでなく、市民一人ひとりが高齢者、障がい者等の移動や施設利用に制約のある方の困難を自らの問題として意識し、バリアをなくそうとすることです。(茅ヶ崎市バリアフリー基本構想より抜粋)

6. 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度

問24 あなたは成年後見制度をご存知ですか。[○は1つ]

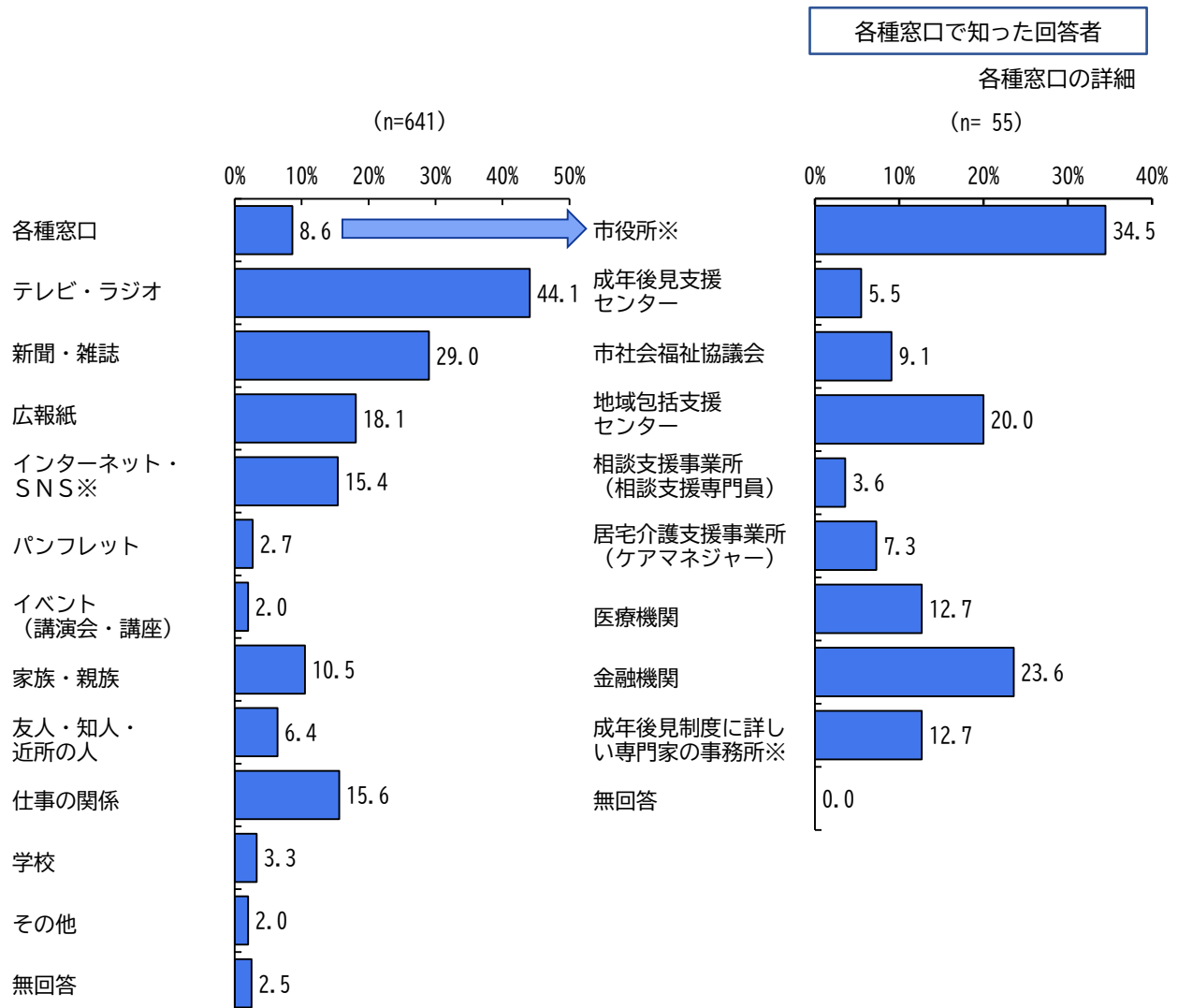


成年後見制度の認知度については、「内容を知っている」が23.8%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が46.5%、「知らない」が24.6%となっています。

（２）成年後見制度を知った媒体

問24で「１．内容を知っている」、「２．聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した方にお聞きします。

問24-2 成年後見制度について何で知りましたか。〔○はいくつでも〕



※選択肢「インターネット・SNS」は「インターネット・SNS（フェイブック・エックス（旧ツイッター）・LINEなど）」

※選択肢「市役所」は「市役所（成年後見支援センターを除く）」

※選択肢「成年後見制度に詳しい専門家の事務所」は「成年後見制度に詳しい専門家の事務所（弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士・税理士・精神保健福祉士）」

成年後見制度を知った媒体については、「テレビ・ラジオ」が44.1%と最も多く、次いで「新聞・雑誌」が29.0%、「広報紙」が18.1%などとなっています。

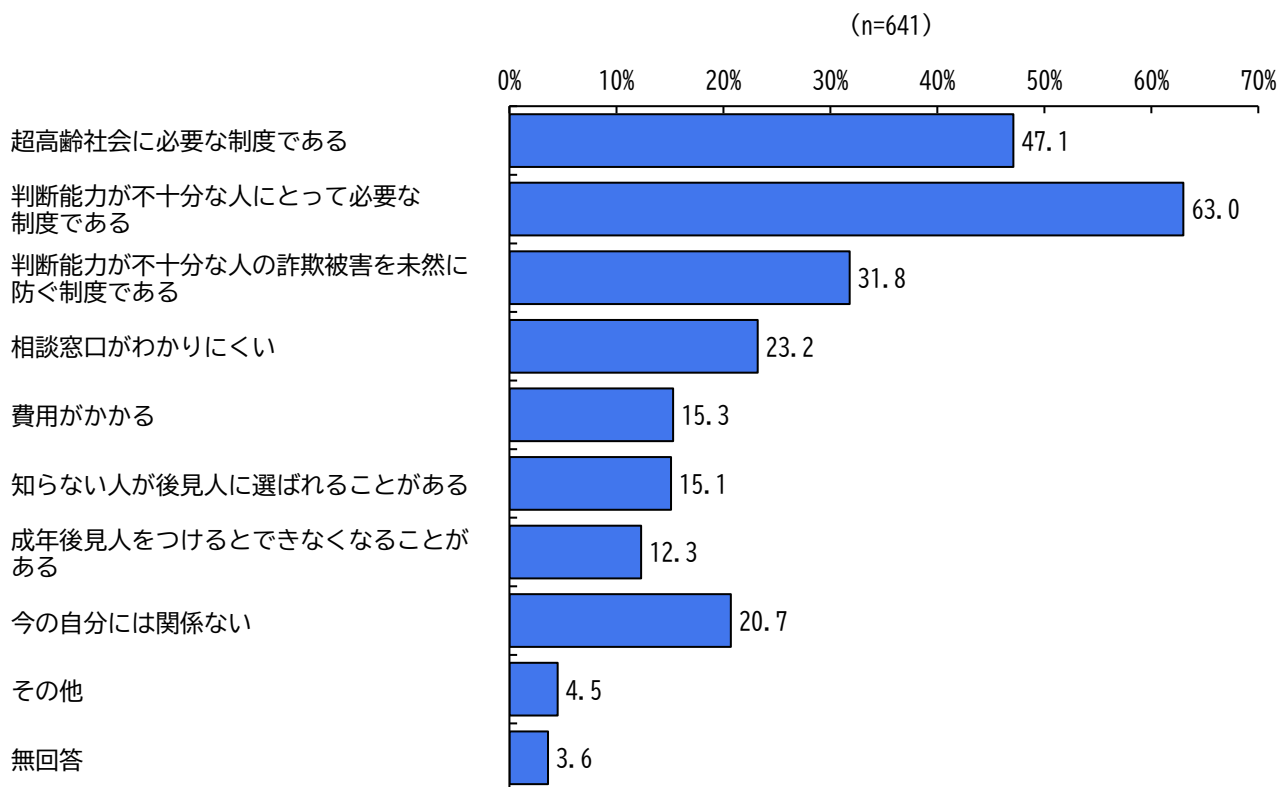
各種窓口で知った回答者については、「市役所」が34.5%と最も多く、次いで「金融機関」が23.6%、「地域包括支援センター」が20.0%などとなっています。

(3) 成年後見制度に対する考え

問24で「1. 内容を知っている」、「2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した方にお聞きします。

問24-3 成年後見制度について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。

[〇はいくつでも]

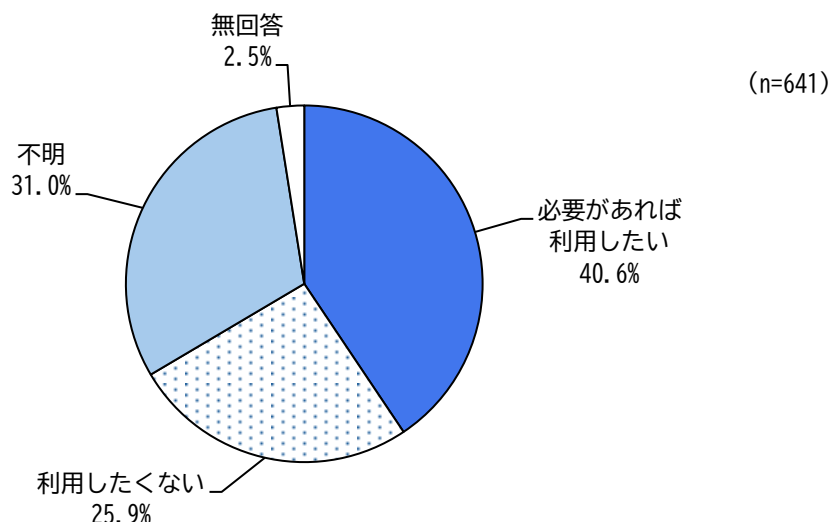


成年後見制度に対する考えについては、「判断能力が不十分な人にとって必要な制度である」が63.0%と最も多く、次いで「超高齢社会に必要な制度である」が47.1%、「判断能力が不十分な人の詐欺被害を未然に防ぐ制度である」が31.8%などとなっています。

（４）成年後見制度の利用意向

問24で「１．内容を知っている」、「２．聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した方にお聞きします。

問24-4 将来、自身または親族に成年後見制度を利用したいと思いますか。〔〇は１つ〕

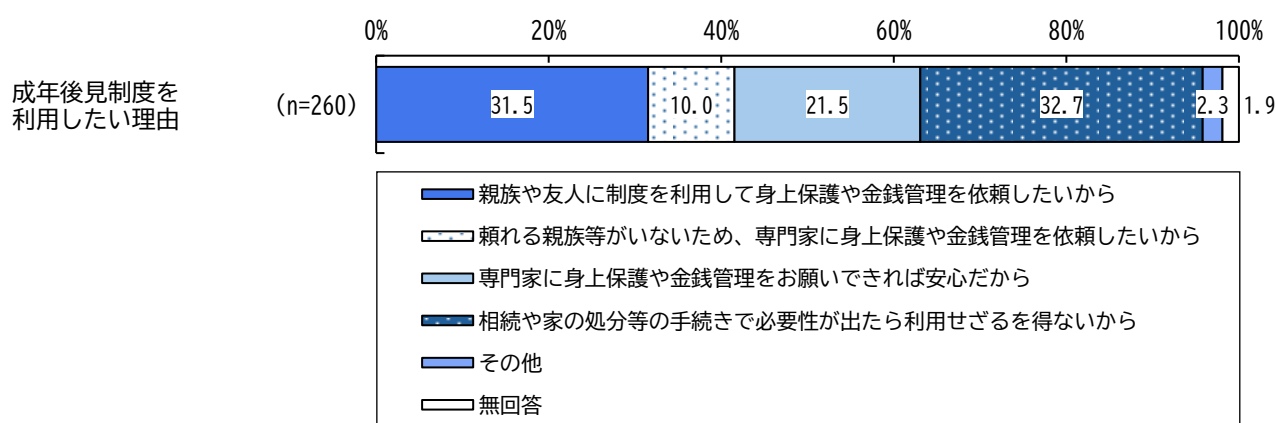


成年後見制度の利用意向については、「必要があれば利用したい」が40.6%、「利用したくない」が25.9%、「不明」が31.0%となっています。

（５）成年後見制度を利用したい理由

問24-4で「１．必要があれば利用したい」と回答した方にお聞きします。

問24-5 理由としてあてはまるものをお答えください。〔〇は１つ〕

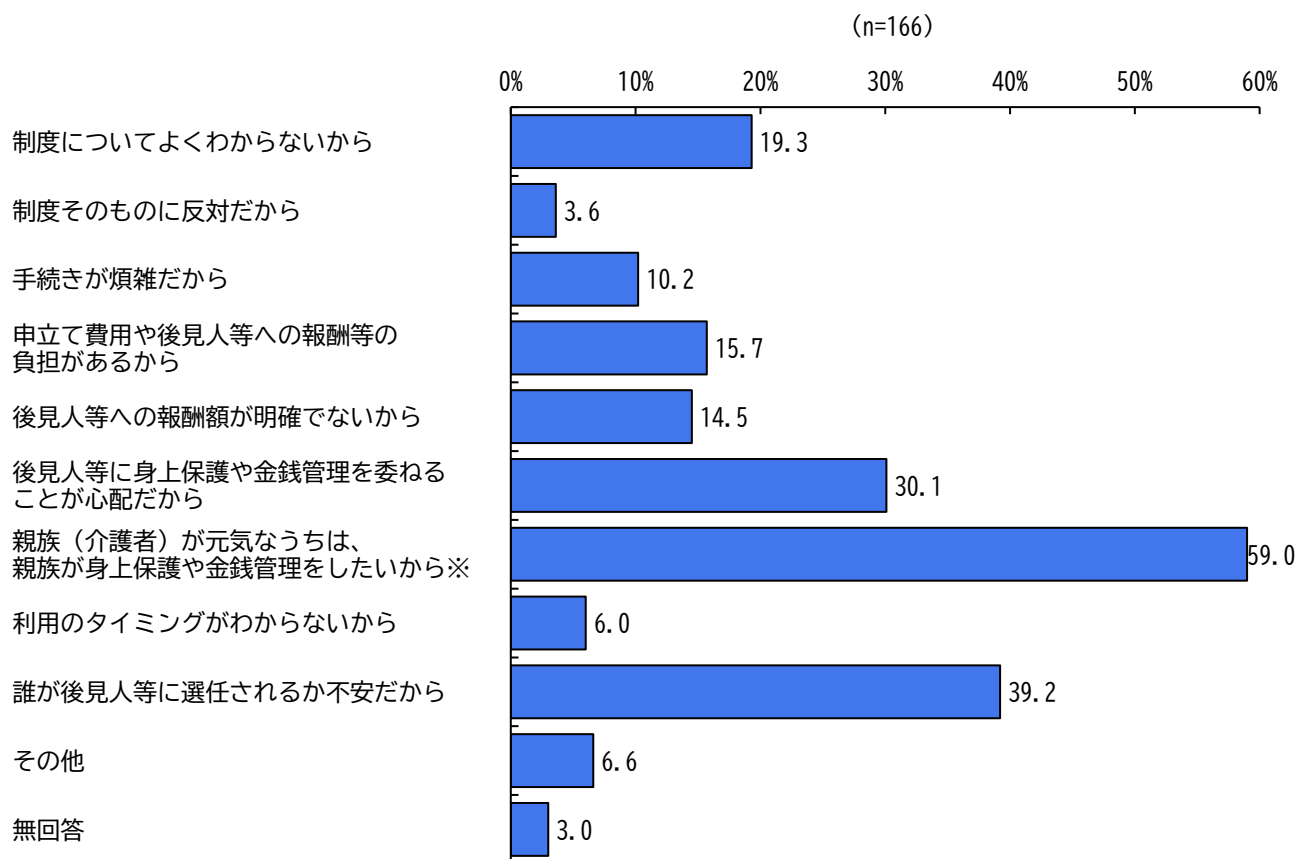


成年後見制度を利用したい理由については、「相続や家の処分等の手続きで必要性が出たら利用せざるを得ないから」が32.7%と最も多く、次いで「親族や友人に制度を利用して身上保護や金銭管理を依頼したいから」が31.5%、「専門家に身上保護や金銭管理をお願いできれば安心だから」が21.5%などとなっています。

（６）成年後見制度を利用したくない理由

問24-4で「２.利用したくない」と回答した方にお聞きします。

問24-6 理由としてあてはまるものをお答えください。〔〇はいくつでも〕

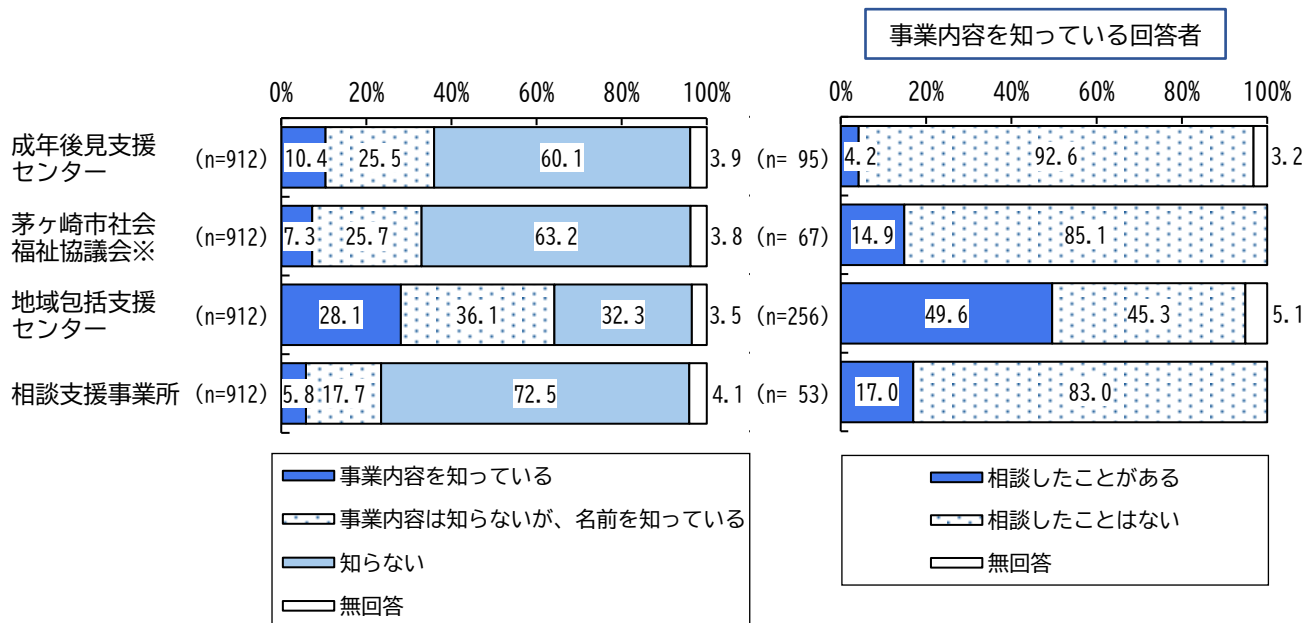


※選択肢「親族（介護者）が元気なうちは、親族が身上保護や金銭管理をしたいから」は「親族（介護者）が元気なうちは、親族が身上保護や金銭管理をしたいから（親族に身上保護や金銭管理をしてもらいたいから）」

成年後見制度を利用したくない理由については、「親族（介護者）が元気なうちは、親族が身上保護や金銭管理をしたいから（親族に身上保護や金銭管理をしてもらいたいから）」が59.0%と最も多く、次いで「誰が後見人等に選任されるか不安だから」が39.2%、「後見人等に身上保護や金銭管理を委ねることが心配だから」が30.1%などとなっています。

(7) 相談窓口の認知度

問25 以下の相談窓口について、それぞれあてはまるものをお答えください。[○はそれぞれ1つ]



※選択肢「茅ヶ崎市社会福祉協議会」は「茅ヶ崎市社会福祉協議会あんしんセンター（日常生活自立支援事業）」

相談窓口の認知度（「事業内容を知っている」と「事業内容は知らないが、名前を知っている」の合計）については、「成年後見支援センター」が35.9%、「茅ヶ崎市社会福祉協議会あんしんセンター（日常生活自立支援事業）」が33.0%、「地域包括支援センター」が64.2%、「相談支援事業所」が23.5%となっています。

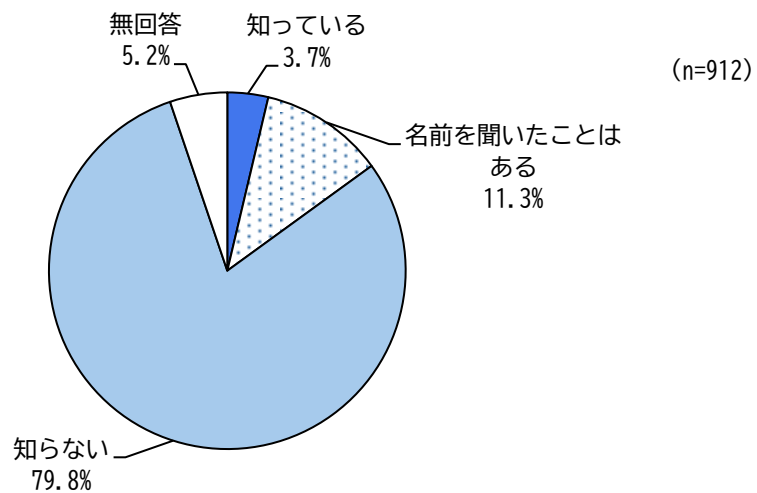
「相談したことがある」の割合については、「成年後見支援センター」が4.2%、「茅ヶ崎市社会福祉協議会あんしんセンター（日常生活自立支援事業）」が14.9%、「地域包括支援センター」が49.6%、「相談支援事業所」が17.0%となっています。

■相談窓口

窓口	参考説明
成年後見支援センター	認知症や知的障がい、精神障がいのある方などの成年後見制度に関する相談窓口です。
茅ヶ崎市社会福祉協議会 あんしんセンター (日常生活自立支援事業)	自己決定や意思の表明が不十分となったときに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを通じて住み慣れた地域で安心して生活できるように援助を行います。

(8) 市民後見人の認知度

問26 あなたは市民後見人をご存知ですか。[○は1つ]



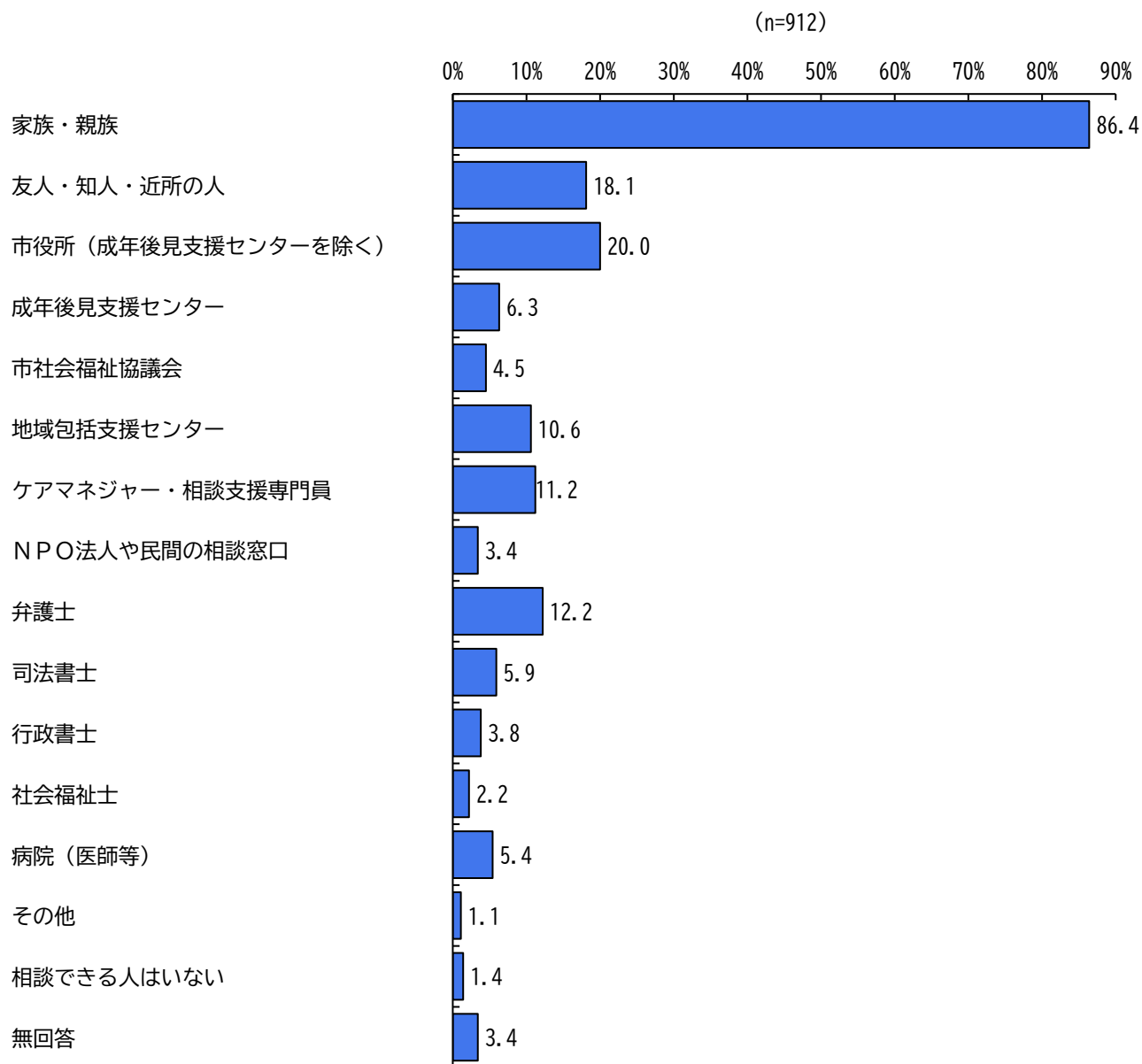
市民後見人の認知度については、「知っている」が3.7%、「名前を聞いたことはある」が11.3%、「知らない」が79.8%となっています。

市民後見人：

弁護士や司法書士などの資格はもたないものの社会貢献への意欲や倫理観が高く、成年後見に関する一定の知識・態度を身に付けた市民のなかから、家庭裁判所により選任された方です。茅ヶ崎市では、平成28年度から社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会に委託し、「市民後見人養成講座」を実施しています。現在までに24人の受講生が修了認定を受けました。

(9) 病気や加齢により、判断能力が低下したとき相談したい相手

問27 もしもあなたが病気や加齢により、判断能力が低下し、預貯金や不動産の管理、家族の世話、購入したりサービスを利用する契約行為に不安を感じたとき、誰（どこ）に相談したいと思いますか。〔〇はいくつでも〕



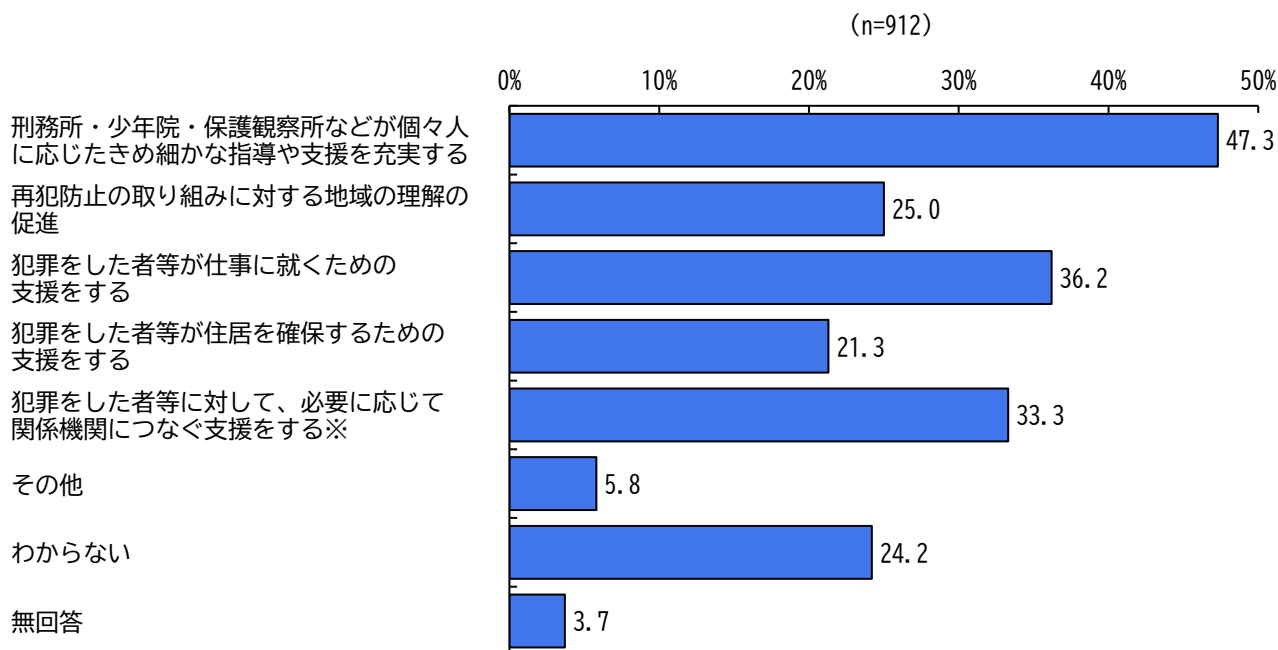
病気や加齢により、判断能力が低下したとき相談したい相手については、「家族・親族」が86.4%と最も多く、次いで「市役所（成年後見支援センターを除く）」が20.0%、「友人・知人・近所の人」が18.1%などとなっています。

7. 再犯防止について

(1) 再犯防止のために必要だと思うこと

問28 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

[〇はいくつでも]



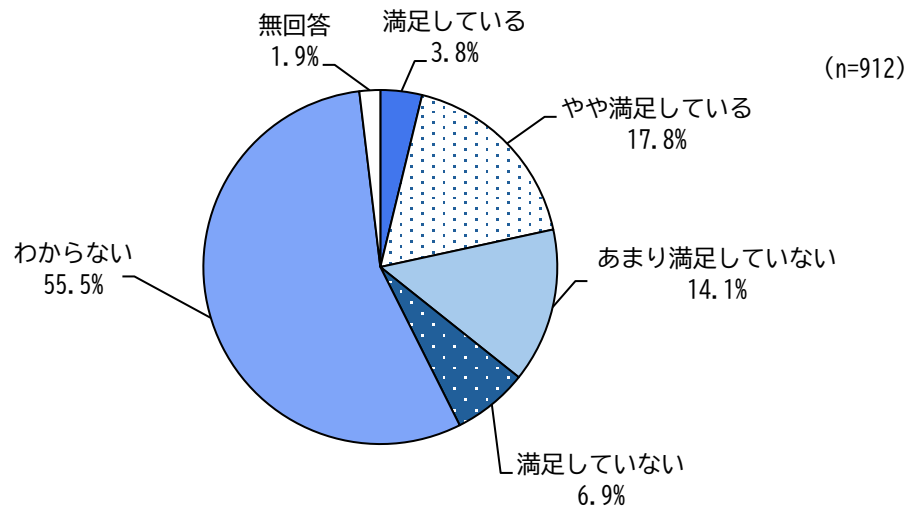
※選択肢「犯罪をした者等に対して、必要に応じて関係機関につなぐ支援をする」は「犯罪をした者等に対して、必要に応じて関係機関（行政、保健医療、民間団体等）につなぐ支援をする」

再犯防止のために必要だと思うことについては、「刑務所・少年院・保護観察所などが個々人に応じたきめ細かな指導や支援を充実する」が47.3%と最も多く、次いで「犯罪をした者等が仕事に就くための支援をする」が36.2%、「犯罪をした者等に対して、必要に応じて関係機関（行政、保健医療、民間団体等）につなぐ支援をする」が33.3%などとなっています。

8. 地域福祉施策についての意見

(1) 茅ヶ崎市の福祉全般の取り組みについての満足度

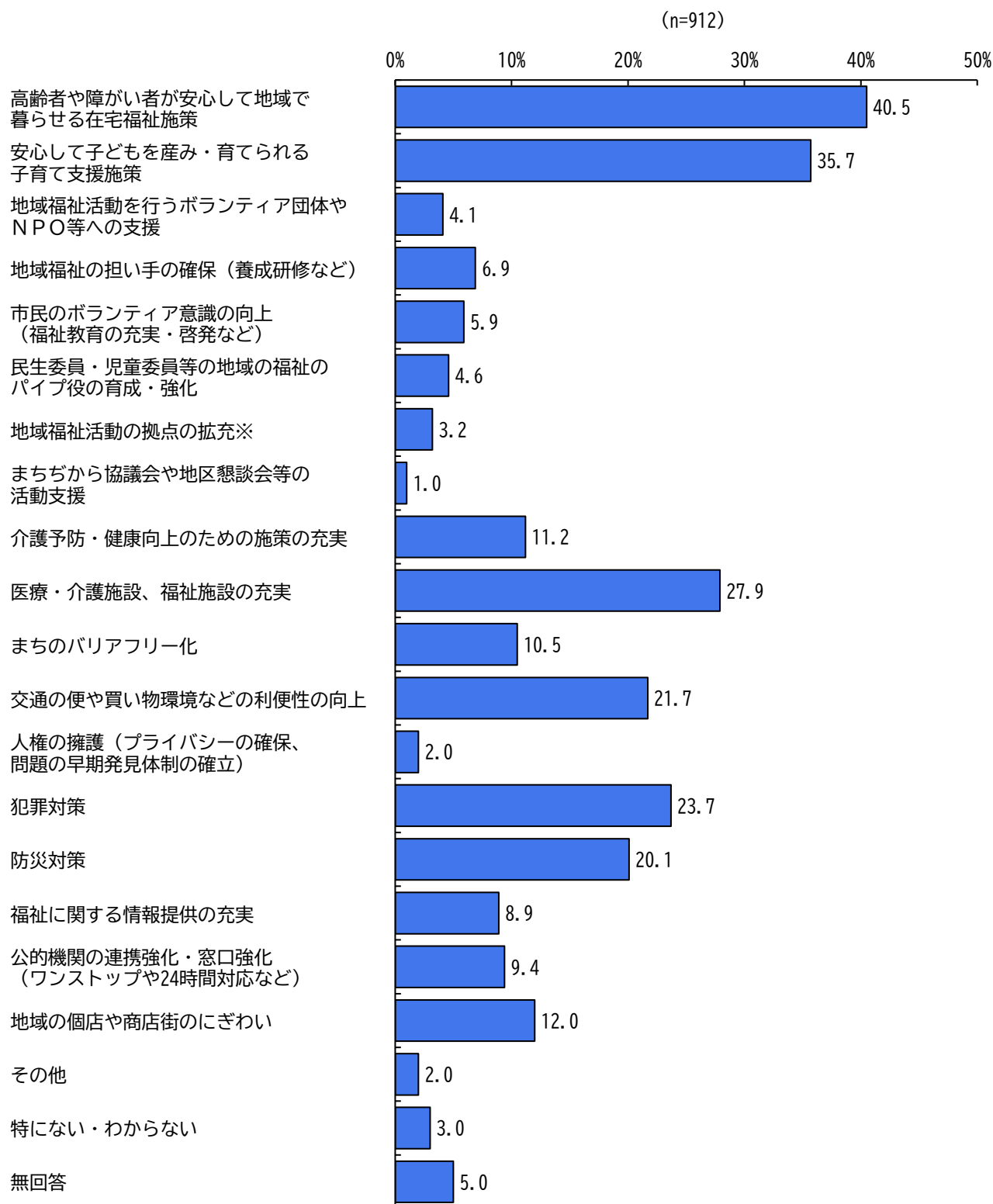
問29 あなたは、茅ヶ崎市の福祉全般の取り組みについてどのように感じていますか。[○は1つ]



茅ヶ崎市の福祉全般の取り組みについての満足度については、「わからない」が55.5%と最も多く、次いで「やや満足している」が17.8%、「あまり満足していない」が14.1%などとなっています。

(2) 力を入れていくべき取り組み

問30 茅ヶ崎市がより暮らしやすいまちになるためには、どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。[〇は3つまで]



※選択肢「地域福祉活動の拠点の拡充」は「地域福祉活動の拠点の拡充（既存の拠点の機能の充実・新たな拠点の整備）」

力を入れていくべき取り組みについては、「高齢者や障がい者が安心して地域で暮らせる在宅福祉施策」が40.5%と最も多く、次いで「安心して子どもを産み・育てられる子育て支援施策」が35.7%、「医療・介護施設、福祉施設の充実」が27.9%などとなっています。

(3) 自由意見

問31 身近な地域の困りごとや気になっていること、地域福祉に関するご意見・ご要望・アイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。いただいたご意見等は、今後の地域福祉の取り組みの参考とさせていただきます。

「行政のサービスや施策への意見」が97件で最も多く、「環境整備・公共の場における問題」（80件）や「地域福祉活動・ボランティア」（21件）などが多くなっています。

■件数

分類	件数	割合
総数	218件	100.0%
行政のサービスや施策への意見	97件	44.5%
——交通手段	25件	11.5%
——子ども・子育て	25件	11.5%
——高齢者・介護	14件	6.4%
——障がい者	10件	4.6%
——健康・医療	9件	4.1%
——行政	14件	6.4%
環境整備・公共の場における問題	80件	36.7%
——道路・交通関係設備等	50件	22.9%
——ゴミ・ゴミ集積所	10件	4.6%
——公園	4件	1.8%
——防犯	16件	7.3%
情報発信・広報・周知	15件	6.9%
相談体制	4件	1.8%
地域福祉活動・ボランティア	21件	9.6%
つながりづくり	10件	4.6%
近所付き合い・近隣の問題	17件	7.8%
支援が必要な人・世帯	6件	2.8%
その他	19件	8.7%

※複数の分野にまたがる意見もあるため、分野ごとの件数の合計は、意見の総数より多くなります。

主な意見について、内容を要約して掲載します。

行政のサービスや施策への意見（97件）

交通手段（25件）

- スーパーや店が少なく、バスの本数も少ないので不便です。コミュニティバスも通らないので、病院に行ったりするのに不便。
- 市役所の場所が駅から多少ではあるが、距離があり、高齢者の足では大変なのではと感じています。駅から市役所までのシャトルバスがあると便利だと思います。
- 今は自転車移動、車で買物をしているが、コミュニティバスの路線、本数を増やしていただければ、高齢になったときに利用しやすいです。
- 介護・福祉のためにも市内に自動運転タクシーやバスの運用をしてほしいです。支援の必要ない人、配車をネットでできる人は自動運転を、救急や特別支援が要る人は現行の運転手がいるタイプを使えたらうれしいです。
- 高齢者による車での死亡事故を防ぐために、安心して車を手放せる制度をつくる。タクシー券や、乗り合いバス利用チケットなどを年齢別に枚数を決めて交付するというような。
- 近所のお年寄りが、買物に行くことが難しそうでかわいそう。
- 海側に住んでいますが最近はタクシーも予約できないこともあり、バスの本数も少ないので困っています。また、自宅周辺にはお店がなく不便です。国道134号線にバスが通ること、スーパーかコンビニができることが希望です。
- 駅、病院等、車出しボランティアがあれば利用したい。

子ども・子育て（25件）

- 他の市町村と子育て支援の部分で遅れているように感じる。子どもの医療無償化の年齢制限が低い。また、子どもが遊べるような公園が少なく感じる。もっと茅ヶ崎で子育てをしたいと思わせるような支援をしてほしい。
- 子育て支援が薄い。出産時も何もなく、他の市や県と比べてしまう。学費の免除。東京に並び実施すべき。これから目を向けてほしい。他県からの流入が多いので支援の弱体化が心配。
- 学校の給食や授業料・医療費の無償化、市内小学校・中学校・高校の授業料無償化。
- 児童相談所が手いっぱい、起こった虐待への対応に追われ、予防となる養育支援をやっていない。そこを市が積極的にやっていただきたい。
- 保育園も待機児童が多いと思いました。
- 今まで地域福祉に触れる機会がなかなかなかったため、学生に対して受動的に学べる機会があると今後の生活にいけると感じます。
- 学校教育への要望として小さい頃からバリアフリーを学ぶため、小・中学校で手話や点字の授業を取り入れてほしいです。盲導犬や補助犬の体験学習なども取り入れてほしいです。
- 小学校の学区、徒歩圏内であれば学区でないところに通いたい。

高齢者・介護（14件）

- 高齢者の憩いの場所をもう少し増やす。
- ボランティアも大事ですが、年金の少ない時代、元気な高齢者が働けるように支援してほしい。
- 介護が必要になった場合の確実な手続を知りたい。
- 一人暮らしの高齢者や障がい者の見回り、自治会の人たちが定期的に訪問されて、安心された方がいました。近所や自治会の人たちが協力して、見守りがあると、一人暮らしの人も安心して過ごせると思います。

障がい者（10件）

- 小学校の特別支援級を卒業すると、交流を深めた同級生たちが進学する学区の中学校には通えず、別の学区へ行かねばならない。通学もさらに遠くなるので、一人登校が原則の中学では、通学中の様々なリスクが増える。どうして、小学校の同級生と同じ中学へ通えないのか。大至急全学校に支援級をつくってほしい。
- 障がい者の家族の方が安心できるサービスが増えたらと思う。支援学校を卒業した人たちのその後の支援。ひきこもりの子どもや障がい者と家族の状況把握。
- 福祉サービスへのアクセスと利用手続でのバリアを感じる。とりわけ精神や知的な障がいを持つ人にとっては負荷が大きいです。用語等の平易化、手続の簡略化と処理の迅速化、ワンストップ化やネットワーク化をさらに進めていただくと同時に当事者一人ひとりの視点に立った包括的なサポートを行っていただきたく思います。

健康・医療（9件）

- 内科に限らず、眼科、耳鼻科等、各病院が近くになく、藤沢市の病院に通院しています。そのためもあり、市の健診や予防接種を受けるときなど、不自由を感じることもあります。
- 先日熱が出たときに、地元にかかりつけ医を置いていないため医者にかかれなかった。初診は予約が必要で既にいっぱいだった。北部にも総合病院、もしくは医療雑居ビルがほしい。
- 健康向上、成人病予防のためにも、気軽に運動ができる場所を、特に湘北地区に増やしてほしい。

行政（14件）

- 行政目線です。一般、特に老人より若者目線で行政を考える必要があると思う。老人より若者が自由で元気の出る街へ。
- 大規模なショッピングセンターを誘致して茅ヶ崎市を盛り上げてほしい。
- 市独自の医療・福祉への給付が充実している方が良い。
- 何でもボランティアに頼りすぎです。その前に市政の無駄、効率等を考えましょう。
- 健常な人も障がいのある人もともに生きる。これからも良い福祉施策をよろしくお願いします。

環境整備・公共の場における問題（80件）

道路・交通関係設備等（50件）

- バリアフリー化の実施はありがたい。施設のメンテナンス、特に歩道の凹凸の是正をお願いします。
- 歩道及び車道における、自転車と歩行者の分離、自動車と自転車の分離。歩道では塗料による精神的な分離により接触事故を防ごうとしているが、縁石の類いで物理的に分離する対策で対応しないと、事故は回避できないと考える。
- 歩道が狭い。道路凹凸には水はねが多く、歩行に難あり。安心して歩行できる環境整備が、防災、健康につながると思います。
- ラチエン通りは道が狭い。歩道に区分けされているところが平らでない。足が不自由な人はとても歩きづらい。平らにするか歩道を広くとってほしい。
- 大雨時の道路の冠水が、近年、度々あり不安です。安心して暮らせるまちとして、親水公園の拡充や、現状の把握・調査をしていただき、対策をお願いしたいです。
- 雨が降ると道がすぐ冠水し、排水が酷い。町中あちこちで渋滞してしまう。子どもたちが学校へ行く通学路ですら、膝下まで濡れてしまう。子どもたちのためにも本当に道路、排水、下水の整備を行ってほしい。
- 国道を爆音で走る暴走族をどうにかしてほしい。夜間なので目が覚めてしまう。
- 産業道路沿いを走る集団の暴走族のバイクを何とかしてほしい。
- 交通安全の取組強化。自転車の逆走防止。カーブミラーの設置。自転車のスマホ、音楽使用禁止、取締り。路駐禁止。
- 自転車も含め、交通ルール違反が多い。路上喫煙、ポイ捨てが多く汚い。
- 子どもの通学路で交通量が多い道路は、朝時間規制で一方通行にしているところがあるが、帰宅時はやはり危ない。防犯カメラ設置やパトロールで、安全に帰宅できる環境にしてみてもどうか。パネルなどを設置し、ドライバーに意識して通行してもらおうのもよいと思う。
- 交差点や横断歩道の夜間照明がないところが多いので人感センサー付きのLED照明を増やしてほしい。
- 高齢者の方々が外出したときの休憩するベンチを適切なところに設置してください。腰掛けながら地域の方と会話し、親しく顔見知りになってつながっていくと思います。公園とか、コミュニティセンター、公民館、市の施設の玄関など。
- 作ったままで手入れのされていない花壇、公園など、気になります。施設も本当に必要なのか。それより既存の物を見直すべきなのでは。
- 茅ヶ崎駅の床が、雨が降ると滑りやすくなるので危険だと思っています。
- JR茅ヶ崎駅のホーム幅が狭いです。辻堂駅や平塚駅に比べて劣っていると思う。特にホーム自体に傾斜のある場所があり、危険に思います。

ゴミ・ゴミ集積所（10件）

- 茅ヶ崎市でもゴミ収集所の指定されたネット、カゴなど分別がないために、カラスによるゴミ散乱があり、悪臭、衛生面から問題が発している。ネットでは小さいかもしれないため、指定所にそれなりの対策を行ってほしい。
- 夏に海岸や、海のそばにゴミが捨てられていて、カラスが散らかしてしまい近くの人が片付けている。
- 砂浜のゴミ。ビーチクリーンを増やしたい。

公園（4件）

- 子育てしていて思うのですが、海岸地区エリアに幼児が遊べる遊具を備えた公園が少なくて困っています。平塚市の総合公園のように充実した公園が、茅ヶ崎市にもほしいです。

防犯（16件）

- 防犯対策としてできれば防犯カメラをあちこちに取り付けてもらえたら、安心の材料になると思います。
- 日本全体で異常な犯罪が多発しています。高齢者や小学生の見守りを含め、パトロールを是非実施できればと思います。
- 夜間の街灯が暗すぎる。
- 夜の駅前の治安が悪い。
- 最近高齢者、弱者を対象とした犯罪が多発しています。自治会等での注意喚起はもちろんですが、防犯茅ヶ崎の放送で、不審事案の「#9110」の活用を定期的に呼びかけてはいかがでしょうか。

情報発信・広報・周知（15件）

- 地域福祉の活動内容についてよくわからない。携わる機会もなく、もう少し市民にわかりやすく情報を発信してほしい。
- 茅ヶ崎市の地域福祉については、あまり広められていないように感じます。活動している団体がこのように多く存在することを知りませんでした。今後、よりわかりやすい展開を進めていただくと、より市民が理解できるようになると考えます。
- 福祉について知らないことが多過ぎたので、これを機会に勉強してみようと思います。
- 海岸近くの津波対策。防災放送が、室内、屋外でほとんど聞き取れない。話し方、音声帯域、音の反響を考えたスピーカーの設置、配置等。
- 市のLINEはよく見えています。情報が届くとありがたい。

相談体制（4件）

- 土曜日、日曜日、夜間の相談対応もお願いしたいです。インターネット24時間対応や、当番制の活用など。本当に必要な人にサービス、相談が届く方法をもっと考えていくこと。制度確立よりも活動重視をお願いします。

地域福祉活動・ボランティア（21件）

- ボランティア活動が広がることは、色々な人が人権を尊重する意識が持てるようになるのではないと思う。一方、働く人やボランティアの使命感ややりがいによって頼ってばかりの現状では、福祉は衰退してしまうと思う。施設の充実や働く人への改善が、実現すると良いと思う。
- 地域福祉活動、ボランティア活動を担っている方々の高齢化が気になります。また、様々な組織の構成員が同じ顔ぶれであるようにも感じ、担い手の育成や確保の方法を工夫する必要があると思います。
- 町内会活動、民生委員活動に対して、行政はあまりに丸投げし過ぎている。行政として業務委託にして活性化し、ボランティア活動としての負担を軽減しないとなり手がいなくなる。
- 近所の民生委員の方が、以前、忙しいなか訪問してくださり、温かい気持ちのこもった言葉や態度に頭が下がりました。福祉の方々にいずれ何かの相談に伺うことになるかと思いますが、できるだけ自分たちでがんばって生活していこうと努力します。色々相談できるところがあるのを知り、心が少し軽くなりました。
- 母の事で地域包括センターの方に大変お世話になりました。とても良くしていただきました。このような方が少しでも働きやすい環境にしていいただければと思います。福祉の方が皆さん良い方ばかりなので収入など増えれば良いと思っています。
- 地域福祉活動の拠点を拡充することが必要と考えます。拠点整備には、多くのハードルがあることは想像できますが、10年後及びそれ以降の超高齢化社会の状況を考えると、今のうちから準備していないと手遅れになると考えます。
- 地域福祉のことなど考えたことがなかったが、これからよく考え、実行できるものは実行したい。

つながりづくり（10件）

- 茅ヶ崎は昔から住んでいた人、外から移住してきた人、一時的に住んでいる人等様々な方が暮らしていると思うので、皆が楽しめるイベントをどんどん発信し、皆で助け合える空気づくりを期待しています。
- ご近所、高齢者、子どもたちが、コミュニケーションできる酒場、カフェのような場所が、民間主導で活発になるとよいと思う。
- コミュニティセンターが使いづらい。会議室が空いていても、登録していないと使えず、フリースペースも制約が多い。

近所付き合い・近隣の問題（17件）

- 空き家が近所に増え、管理していないので、火災になるため、電気を止めてもらいたい。空き家を巡回して、住んでいない家の人に連絡を取り、整備してほしい。受身ではなく積極的に、市役所で管理してもらいたい。
- 若い世代の人は共働きが多く、以前のような近所付き合いという関係はほぼなくなっています。今は家族がいますが、今後1人になったとき、孤立する不安が大いにあると感じます。自治会単位で集まれる機会がもっと多くあればいいなと思います。
- 自治会が高齢化し、自治会のなかの活動が怠っている気がします。市からの情報がもっと自治会に細かく伝わり、活動が活発に行われるといいかと思えます。
- 自治会への入り方がわからない。氏子になりたいが、地域の神社の様子がわからない。
- 庭にアライグマが現れ、荒らされて困っています。

支援が必要な人・世帯（6件）

- 行政が困っている人に介入してあげるのは良いと感じます。当事者の方々の声を聞いてあげてください。
- 手を差し伸べることが一番大切です。困っている人の話を聞くことを充実させてほしい。話を聞いてもらうだけでも立ち直れる人はたくさんいる。立ち直った人が、今度は話を聞く側になればとても良いと思います。困っている人を見つける方法、ツール等をお願いしたい。

その他（19件）

- 犯罪者を更生することも重要ですが、そもそも犯罪者にしないことの方が重要だと思います。性犯罪含め、学校での教育、罰則の強化が必要だと思います。何より被害者を守ることを重視してください。
- 企業誘致をして、横浜や川崎、都内と同水準の給与、福利厚生が受けられる働き口を増やしてほしい。
- 街の魅力は、住人の個性を活かした店やイベントだと感じます。そのような方々が活動しやすい土台があれば良いです。
- 新しい市営、県営住宅の増設を希望します。
- 電気は化石燃料に頼るのでなく、補助金を活用してソーラーハウス化にしたいです。
- オンラインでもアンケートに回答できると便利ではないかと思う。